

名古屋芸術大学・大学院 後援会報

第67号 2019年9月30日発行



NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

CONTENTS

1	目次
2	ごあいさつ
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告
4	今年度事業計画 新役員・委員一覧
5	2018年度 後援会決算報告
7	2019年度 後援会予算書
9	名古屋芸術大学近況報告
28	学務部報告
30	2019年度 学生数 大学へのお問合せ一覧
31	2019年度 年間行事予定
34	就職セミナーのご紹介
37	各学部進路状況
38	音楽学部主催による演奏会のご案内
39	先輩の活躍
41	親の想い
42	子の想い
43	クラブ・同好会紹介
45	トピックス ピックアップ
48	ブライトン大学訪問記
50	アート&デザインセンター 展覧会スケジュール
51	大学組織図
52	名古屋芸術大学・大学院後援会会則
53	学校法人名古屋自由学院決算報告
54	せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集 編集後記



ごあいさつ



後援会長

菊井 政右衛門

名古屋芸術大学・大学院生の保護者の皆様方におかれましては、平素より後援会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

去る5月19日に開催されました後援会定期総会におきまして、令和元年度(2019年度)後援会会長にご選任いただきました。菊井政右衛門と申します。浅学菲才の身ではございますが、後援会活動を通じて名古屋芸術大学の一層の発展に寄与すべく尽力して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、名古屋芸術大学は2020年、創立50周年を迎えます。名古屋芸術大学にあってはこの間、常に時代の変化と新たなニーズを先取りし、2017年度には BORDERLESS (ボーダーレス) を標榜して、既存の芸術系3学部の融合再編を中核とする大改革を断行しました。さらに本年度からはグローバル化を視野に、国際的に活躍し得る人材の育成を目的とした新たな教育プロジェクト=Worldea (ワールドディア) をスタートさせました。次々と新機軸を打ち出し大胆な改革を推進してきた名古屋芸術大学は、いまや全国屈指の芸術系総合大学へと成長し、引き続き次の50年、100年先を見据えながら、不断の革新と果敢な挑戦を続けて参ります。

名古屋芸術大学の raison d'être(レーゾンデートル)とは何か。それは、芸術活動を通じた人間教育にあります。そして後援会の目的は、この名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学の正常な運営に寄与し、学生の福利厚生ならびに大学諸活動を後援することにあります。

現在後援会では、機関誌「後援会報」の発行、研修会の開催、サークル活動などを通じて、保護者だけでなく教職員を含む多くの人々との関わりの中で親睦をはかり、見聞を広め、豊かな人間性を育み、私たち自身の成長の糧となる各種活動に積極的に取り組んでいます。

全員参加の後援会の総力を挙げて、名古屋芸術大学が推進する BORDERLESS 改革を応援し、学生満足度ナンバーワン、全国芸大(美大・音大)のトップ校を目指し、創立50周年とさらにその先の輝かしい未来に向かって、一路邁進して行こうではありませんか。

皆様方のなお一層の力強いご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶ならびに決意表明と致します。



学長

竹本 義明

2017年度から実施した大学改革の目的は、大学運営の将来への見通しが不透明となる中、高等教育機関としての存在意義を明確にし、社会が求める人材育成を推し進め社会貢献を実現することでした。

人材育成の基本方針であるキャリア教育の取組みを強化するため、8月6日にキャリアセンター主催による「官民学合同説明会&交流パーティー」が実施され、27の企業等から協力があり、各学部・領域から100人を超える学生の参加がありました。

最初に、特別セミナーがあり中川直毅キャリアセンター長から1.雇用動向を考えてみるとして「有効求人倍率」「働き方改革関連法」「AI化の進展」2.授業における能力開発として「今必要なビジネススキル」「これからの上級ビジネススキル」3.私から見た名芸大生として「人間力とは」「名芸大生の秘めたる力」4.パラレルキャリアについて総括的な話がありました。

最近の学生の意識として、卒業後の就職に目的意識が希薄になっている傾向がありますが、平成29年度の内閣府による「就労等に関する若者の意識」調査によれば、就労により十分な収入が得られるのか、きちんと仕事ができるのか、仕事と家庭の両立はできるのか、勤務先での人間関係がうまくいかなどについて、多くの若者が不安を抱えていることが読み取れたとされています。

また、新卒で入社後3年で3割が離職する中で、転職を否定的に捉える若者が多くないことが紹介され、親による離職否定とは異なる結果が出ていました。親の役割として学生の希望する就業をサポートすることが望まれます。

本学卒業生に話を伺うと、大学がキャリア教育への取組みが十分でなかったため、卒業生自らが企業や社会で必要なスキルを苦労して学んでいたようです。そして、大学卒業後就業しながら社会で多くのことを実践し立派に活躍しています。

本学は、学生が社会状況や仕事の種類を理解し、自らの将来が希望を持って描けるようキャリア教育に力を入れ、就業の不適合を解消し、就職率の向上を目指してまいります。

2019年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 定期総会

令和元年5月19日(日)午前10時から東キャンパスにおいて、「2019年度名古屋芸術大学・大学院後援会定期総会」が開催され、(1)2018年度事業報告、(2)2018年度決算報告、(3)監査報告、(4)2019年度役員改選、(5)2019年度事業計画、(6)2019年度予算が承認されました。

また、定期総会終了後のイベント企画として昨年度大変好評であった「卒業生の就職活動体験報告会」を今年度も引き続き実施し、各方面で活躍している卒業生6人に参加いただき、就職活動の具体例や企業で活躍するうえで、名古屋芸術大学での教育がどのように活かされたかを各自の視点で報告していただきました。

午後からは大学主催の教育懇談会が実施され、第一部が全体会、第二部が各学部領域に分かれて実施され、大学の近況報告や就職状況、学生生活全般の話題まで幅広く取り上げられました。教育懇談会終了後、希望者には東キャンパスの施設見学会が実施されました。

■2018年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業報告

月 日	事 業 内 容	役員	委員	開催場所
5月20日(日)	2018年度後援会定期総会/定期総会事前打合せ	○	○	西キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 前期分			
5月31日～ 6月4日	イギリス、ブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加			イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付			
6月23日(土)	第1回役員・委員会	○	○	東キャンパス
7月21日(土)	第2回役員・委員会	○	○	西キャンパス
9月30日(日)	後援会報第65号発行			
10月6日(土)～ 7日(日)	後援会研修旅行	○	○	信州/横谷温泉
11月3日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む)/芸大祭参加	○	○	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 後期分			
1月19日(土)	第4回役員・委員会	○	○	
2月23日(土)	第5回役員・委員会	○	○	東キャンパス
3月卒展開催中	ブライトン大学賞表彰式			西キャンパス
3月22日(金)	卒業式参列(会長・副会長)			日本特殊陶業市民会
3月22日(金)	卒業記念パーティ(会長はじめ役員)	○		名古屋 マリオットアソシアホテル
3月31日(日)	後援会報第66号発行			
4月1日(日)	入学式参列(2018年度会長・副会長)			西キャンパス
4月13日(土)	2018年度会計監査(2018年度監査2名)			東キャンパス
4月13日(土)	第6回役員・委員会	○	○	東キャンパス
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業等が実施されました。			

■2019年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業計画

月 日	事 業 内 容	役員	委員	開催場所
5月19日(日)	2019年度後援会定期総会/定期総会事前打合せ	○	○	東キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 前期分			
5月下旬～ 6月上旬	イギリス、ブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加			イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付			
6月22日(土)	第1回役員・委員会	○	○	東キャンパス
7月20日(土)	第2回役員・委員会	○	○	西キャンパス
9月	後援会報第67号発行			
10月5日(土) ・6日(日)	後援会研修旅行	○	○	
芸大祭期間中	第3回役員・委員会(顧問含む)/ 芸大祭参加	○	○	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金(後援会費)振替 後期分			
1月18日(土)	第4回役員・委員会	○	○	
2月22日(土)	第5回役員・委員会	○	○	東キャンパス
卒展開催中	ブライトン大学賞表彰式(会長)			
3月19日(木)	卒業式参列(会長・副会長)			
3月	卒業記念パーティ(会長はじめ役員)	○		
4月上旬	後援会報第68号発行			
4月1日(水)	入学式参列(2019年度会長・副会長)			西キャンパス
4月18日(土)	2019年度会計監査(2019年度監査2名)			東キャンパス
4月18日(土)	第6回役員・委員会	○	○	東キャンパス
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業を行う予定です。			

■2019年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 役員・委員一覧

役 職 名	氏 名
会 長	菊井 政右衛門
副会長(総務委員長)	川野 佳代
副会長(事業委員長)	小嶋 史子
副会長(広報委員長)	池野 美鈴
副会長(会計)	柏木 司
会 計 監 査	矢野 章子
会 計 監 査	橋本 博文
書 記	伊藤 文子
書 記	石黒 和広
会 計	佐藤 実奈子
監 事	山内 正春

役 職 名	氏 名
総 務 副 委 員 長	小池 真紀子
総 務 委 員	酒井 伊紀
総 務 委 員	田代 章子
事 業 副 委 員 長	森 愛子
事 業 委 員	民田 靖典
事 業 委 員	増山 勝之
広 報 副 委 員 長	荻須 紀子
広 報 委 員	阿部 小百合
広 報 委 員	江上 友加里

■2018年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 決算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,783,832	1,783,832	0	
会 費 収 入	22,420,000	21,650,000	770,000	
特別会計より組入	0	0	0	
受 取 利 息	100	73	27	普通預金
手数料他収入	13,600	13,600	0	寄付
合 計	24,217,532	23,447,505	770,027	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
通 信 費	100,000	32,169	67,831	
旅 費・交 通 費	250,000	196,540	53,460	
会 議 費	300,000	254,570	45,430	
事 務 費・用 品 費	50,000	22,694	27,306	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	15,000	85,000	
渉 外 費	150,000	92,841	57,159	役員出張手当等
事務職員人件費	850,000	477,727	372,273	担当派遣職員
(総務関係合計)	1,800,000	1,091,541	708,459	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	3,000,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,000,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	2,742,840	2,757,160	
卒業生を送る会補助	400,000	400,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	800,000	799,554	446	
公開講座補助	2,300,000	2,209,761	90,239	
役員研修費補助	400,000	313,168	86,832	
(事業関係合計)	20,000,000	17,065,323	2,934,677	
広 報 活 動	1,350,000	1,053,000	297,000	広報誌
広報誌郵送料	500,000	442,611	57,389	
(広報関係合計)	1,850,000	1,495,611	354,389	
定期総会運営費	500,000	318,702	181,298	
予 備 費	67,532	0	67,532	
次 年 度 繰 越	0	3,476,328		
合 計	24,217,532	23,447,505	770,027	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,501,374	1,501,374	0	
雑 収 入	150	129	21	
合 計	1,501,524	1,501,503	21	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,524	1,501,503	21	
合 計	1,501,524	1,501,503	21	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	15,615,277	15,615,277	0	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	3,000,000	2,491,310	508,690	
雑 収 入	100	140	-40	利息
合 計	18,615,377	18,106,727	508,650	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
学 生 貸 付 金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	0	0	0	
予 備 費	15,000	1,944	13,056	過払い返済手数料
次年度繰越	18,600,377	18,104,783	495,594	
合 計	18,615,377	18,106,727	508,650	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,134,219	2,134,219	0	
雑 収 入	20	18	2	
合 計	2,134,239	2,134,237	2	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2018年度 決 算	差 異	備 考
記 念 事 業 等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,239	2,134,237	2	
合 計	2,134,239	2,134,237	2	

■2019年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 予算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	3,476,328	1,783,832	1,692,496	
会 費 収 入	23,356,000	22,420,000	936,000	4月1日現在 新入生 586名 在学生 1,357名 休学者 12名 大学院生 41名
特別会計より組入	0	0	0	
受 取 利 息	100	100	0	普通預金
手数料他収入	13,600	13,600	0	事業協賛金
合 計	26,846,028	24,217,532	2,628,496	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	100,000	100,000	0	
旅 費・交 通 費	250,000	250,000	0	
会 議 費	350,000	300,000	50,000	
事 務 費・用 品 費	0	50,000	-50,000	2019年度から 事務運営費に含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	150,000	150,000	0	役員出張手当等
事務職員人件費	0	850,000	-850,000	派遣契約解除
事務運営費	850,000	0	850,000	事務用品・機器・人件費等
(総務関係合計)	1,800,000	1,800,000	0	
芸大祭補助	3,000,000	3,000,000	0	
クラブ補助	7,000,000	7,000,000	0	
就職活動補助	5,500,000	5,500,000	0	
卒業生を送る会補助	400,000	400,000	0	各学部10万円とする
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	800,000	200,000	一昨年度の予算額へ 増額
公開講座補助	3,600,000	2,300,000	1,300,000	
役員研修費補助	500,000	400,000	100,000	
(事業関係合計)	21,600,000	20,000,000	1,600,000	
広報活動	1,500,000	1,350,000	150,000	広報誌、封筒補充
広報誌郵送料	600,000	500,000	100,000	
(広報関係合計)	2,100,000	1,850,000	250,000	
定期総会運営費	500,000	500,000	0	イベント費用、 保護者昼食費用等
予 備 費	846,028	67,532	778,496	
合 計	26,846,028	24,217,532	2,628,496	

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,501,503	1,501,374	129	
雑 収 入	150	150	0	
合 計	1,501,653	1,501,524	129	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,653	1,501,524	129	
合 計	1,501,653	1,501,524	129	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	18,104,783	15,615,277	2,489,506	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	2,200,000	3,000,000	-800,000	
雑 収 入	150	100	50	
合 計	20,304,933	18,615,377	1,689,556	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
学 生 貸 付 金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	0	0	0	
予 備 費	0	15,000	-15,000	過払い返済手数料
次年度繰越金	20,304,933	18,600,377	1,704,556	
合 計	20,304,933	18,615,377	1,689,556	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,134,237	2,134,219	18	
雑 収 入	20	20	0	
合 計	2,134,257	2,134,239	18	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度 予 算	2018年度 予 算	差 異	備 考
記 念 事 業 等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,257	2,134,239	18	
合 計	2,134,257	2,134,239	18	

名古屋芸術大学近況報告

音楽学部 / 芸術学部芸術学科音楽領域

声楽コース

今年度始まった全ての授業もあっという間に前期が終了し、暑い夏休みに突入している。今年は1年生の総数が増え今までにない賑やかさを感じている。コースが多様化し面白い人材が集まっている印象がする。声楽コースでは今年も意欲的で真面目な学生たちが入ってくれた。楽しく学んでいる様子が窺える。今年は長雨が続き声楽を学ぶ者にとっては少し喉のケアが面倒な季節であったが特に喉を痛める人もなく順調に各実技レッスンに取り組んでいたようである。後期も一生懸命に学んでくれるように望む。

今年度の声楽コースの大きな予定は、2020年2月7日(金)熱田文化小劇場での「歌曲の夕べ」と2020年3月14日(土)、15日(日)西文化小劇場でのオペラ公演「フィガロの結婚」である。それぞれに全学生が取り組む一大イベントなので是非ご期待下さい。オペラはこの夏休みを返上して練習に励みます。

声楽コース長 澤脇達晴

鍵盤楽器コース(ピアノ)

この4月から、ピアノコースでは大きな変化がありました。それは、世界的ピアニストである横山幸雄先生と上原彩子先生の特別客員教授就任です。

お二人の先生方には、3年生ピアノコースの必修科目である「ピアノ演奏解釈」を受け持っていただきました。(横山先生6回、上原先生3回。)特に横山先生は外部に公開としたので、回を重ねるにつれ、来学者が多くなりました。横山マジックとでも言えるような手法で、学生の演奏を次々と変えて行くレッスン法は、それは見事なものでした。私たちは先生の演奏に身近に触れながら勉強できて、とても感激しました。

また、上原先生の授業も、世界を股にかけるピアニストならではのアドバイスが多々あり、私たち指導者にとっても大変実り多いものとなりました。

尚、両先生方には、毎回学生の個人レッスンもお願いしています。レッスンを受けることのできた学生は、とても幸せなことと思います。

このお二人のピアノ演奏解釈の授業は、後期にも9回予定されています。詳しくは、どうぞホームページをご覧くださいませ。横山先生の授業は公開となっていますので、ホームページからご応募ください。

秋には定期演奏会と室内楽の夕べのオーディションがあります。本番の演奏会は11月以降になりますが、どうぞ選抜された学生たちの演奏をお聴きいただきますようお願い申し上げます。

鍵盤楽器コース(ピアノ)長 菅原美枝子

鍵盤楽器コース(電子オルガン)

後援会の皆様には常より、温かいご理解とサポートを賜りまして感謝にたえません。「電子オルガンコース」の学生も現在の4年生を残すのみとなりました。「鍵盤楽器コース」としての電子オルガン専攻という形になってからも、お陰様で学生達は生き生きとキャンパスライフを送っているようです。

電子オルガンを専攻する学生は「鍵盤コース」よりも「総合コース」からの子が多いのが最近の傾向と申せます。現に2019年度の電子オルガン専攻の入学生が6名おります中、5名が総合コースの学生です。勿論、授業もレッスンも鍵盤コースの学生達と何の隔てもなく運営しております。改めて、本学の総合コースの人気ぶりがうかがえて、それはそれで頼もしく思えたりもいたします。因みに現在(2019年8月)に把握しております入試申込み状況によりますと、AO入試受験予定の鍵盤コース・電子オルガン専攻の高校生は、既に4人おられるようです。総合に…例年のように?!…加わって頂けると、それなりの人数になると思うのですが…。音楽領域が順調に学生数を伸ばしております中、伝統的には中心を担ってきた演奏系のコースの人数の復活を目指すのが、今のところ私の立場の最大の課題ともなっております。電子オルガンの学生を絶やさず入学させることに尽力していきたいと存じます。

毎年恒例の電子オルガン・ワークショップが、今年も去る7/14(日)、本学の2号館とホールにおいて開催され、大変多くの方々(中部東海地区の電子オルガンを学習してる小中高生、及び指導者各位)にいらして頂きました。私自身も講座と演奏会をして喜んで頂きました。全体の運営には、学生・非常勤講師達の協力を随分とおおき、大変重宝いたしました。オープンキャンパスにおきましても電子オルガン関係の来学々生だけ見ましても盛況でした。その後の個人レッスン等も含め、学生募集において数字に結び付けてくれと祈っております。

これから定期演奏会等を通じて、主役の学生達の露出機会を迎えていきます。尚いっそうの教育、育成に私も非常勤講師達も力を尽くしてまいります。

重ねまして、後援会皆様様の温かいご支援を賜れますようお願い申し上げます。鍵盤楽器コースの電子オルガン専攻の近況のご報告とさせていただきます。

鍵盤楽器コース(電子オルガン)教授 鷹野雅史

弦管打コース

今年度前期の弦管打コースのトピックスは、新しくオーケストラがコース内に立ちあがりました。「名古屋芸術

大学フィルハーモニー管弦楽団」です。これは今まで合奏の授業として行っていたオーケストラを、より一層強化すべく、プロの演奏家を加え、クオリティの向上を目指していく事を目的としています。勿論学生にとっては授業の一環であると同時に、プロの演奏家と一緒に演奏出来る貴重な場としての側面もあるので、更なる技術の向上が期待出来ると考えています。

その記念すべき第1回演奏会が7/3(水)にナディアパークのアートピアホールにて「コンチェルトの夕べ」として行われました。今年度はあと3回(10/20[音楽の森演奏会]於名古屋芸術大学3号館ホール、12/19[第9演奏会]愛知県芸術劇場コンサートホール、2020年1/31[定期演奏会]愛知県芸術劇場コンサートホール)を予定しておりますので、是非足をお運び頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団
第1回定期演奏会
コンチェルトの夕べ
 2019年7月3日(水) 18:30開演 (18:00開場)
 入場無料 全自由席(整理券なし)
 ナディアパーク デザインセンター11F アートピアホール

名古屋芸術大学では、これまでオーケストラとして、年1回、合計36回の定期演奏会を開催してまいりました。そして、令和元年より新たに「名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団」として生まれ変わりました。これまでの、名古屋芸術大学オーケストラで培った経験の上に、音楽家たちのミュージシャンシップを豪華に折り込んだ新たな歴史の開拓です。
 今回は、その第1回定期演奏会として「コンチェルトの夕べ」を開催し、年4回の定期演奏会を開催予定です。

曲目

ピアノ協奏曲 第1番 莫采長調 / F.リスト
 指揮 (1年)

歌劇「フィガロの結婚」より「愛の神よ」「愛しい日々はどこへ」 / W.A.モーツァルト
 歌唱 (少・ホーロー)より「私の名はミミ」「あなたの愛の輝き」 / G.プッチーニ
 指揮 (4年)

フルート協奏曲 / 1イベル
 小川 理都子 (4年)

クラリネット協奏曲 / A.コーランド
 村田 幸菜 (院2年)

歌劇「ジュリオ・チェザレ」より「この胸に血のある罫り」 / G.F.ヘンデル
 歌唱 (少・ファン・トゥッパ)より「石のように動かす」 / W.A.モーツァルト
 指揮 (4年)

ピアノ協奏曲 第23番 嬰イ長調 / W.A.モーツァルト
 菅田 萌 (院1年)

指揮: 高谷 光信
 管弦楽: 名古屋芸術大学
 フィルハーモニー管弦楽団

指揮者 (1年) 梅村 悠 (4年) 小川 理都子 (4年) 村田 幸菜 (院2年) 丹羽 千春 (4年) 菅田 萌 (院1年)

アートピアホール ナディアパーク デザインセンター11F

■名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク デザインセンタービル
 ■TEL: 052-265-2088 FAX: 052-265-2387
 【交通アクセス】
 ・地下鉄東山線・有楽町線「栄」下車: 南へ徒歩7分
 ・東山線有楽町線「栄」下車: 4号出口より南へ徒歩5分
 ・市バス「自由通大津」下車: 西へ徒歩3分(栄18号系統)
 ・市バス「ナディアパーク」下車: 西へ徒歩2分(栄738系統)



ベルリンより、トーンマイスター、フローリアン・B・シュミット氏を特別客員教授として招き、氏と共に活動するトーンマイスター、アキ・マトウツシュ氏を通訊に迎え、ピアノとギターセッション録音をテーマに特別講義を開催いたしました。講義では、氏のこれまでの音楽録音の例を紹介いただいたあと、クラシック音楽録音の基本を学びました。

その後、1日目は、ピアノソロの録音をテーマとし、本学音楽総合コース1年 瀧澤俊さんによる演奏を録音しました。2日目は、本学学生と一般の方を対象に、ギターセッション録音をテーマとし、ギター奏者、佐藤紀雄氏と山下俊輔氏による演奏を録音しました。



6月13日、株式会社サイゲームス サウンド部のみなさまをお招きし、公開講座「ゲームサウンドの現場より 音楽制作と音声収録の今」を行いました。講義は3時間を超える内容で、ゲームのサウンドデザインと音楽制作について、実際の現場の様子を紹介いただきながら、これらの分野で今後重要となる視点やスキルについて紹介いただきました。



サウンドメディア・コンポジションコース

サウンドメディアコンポジションコースの学生は、音楽制作・録音・音響を学びながら、新しい時代の音楽とテクノロジーと芸術の関わりについて考え、作品制作に取り組んでいます。前期は通常の授業に加え、以下の特別講義・公開講座を行いました。



5月11日、12日、公開講座「トーンマイスターワークショップ2019」を碧南市芸術文化ホールで行いました。

7月3日、名古屋市青少年文化センターアートピアホールにて行われた本学のコンサート「コンチェルトのタペ」のライブ録音を3年生の学外授業として行いました。事前にオーケストラの録音を研究しながら録音の実践を行うことができました。



また、本コースでは来る2020年2月15日(土)、本コース学生が、現代におけるアートのあらゆる可能性を探求し、音楽作品を制作しながら、映像や照明の演出表現を加え、アートと音楽の有機的結合をめざすコンサート、「カレイド・スコープ」を本学2号館大アンサンブル室で行います。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

サウンドメディアコース 准教授 長江和哉

ミュージカルコース

エンターテインメントディレクションコース

冒頭に、皆さまに両コースから悲しいご報告があります。

7月9日。ミュージカルコース所属の森泉博行教授(享年74歳)がお亡くなりになりました。

森泉先生は長年ミュージカルコースの運営に携われ、多くの卒業生を送り出されました。卒業生の中には劇団四季の俳優や、学校等で教鞭を取っている卒業生も多く、大学主催の公演をはじめ、各自治体等から依頼される多くの公演等の脚本、演出を手がけられてきました。

また、エンターテインメントディレクションコースの立ち上げ、運営にも貢献され、今では同コースは、音楽総合コースと並んで、音楽領域にとって、多くの受験生を獲得するコースとなっています。

ここに森泉先生が多くのご功績を残されたことに敬意を表しますとともに、永年のご功労に衷心より感謝し、ご冥福をお祈り申し上げる次第です。

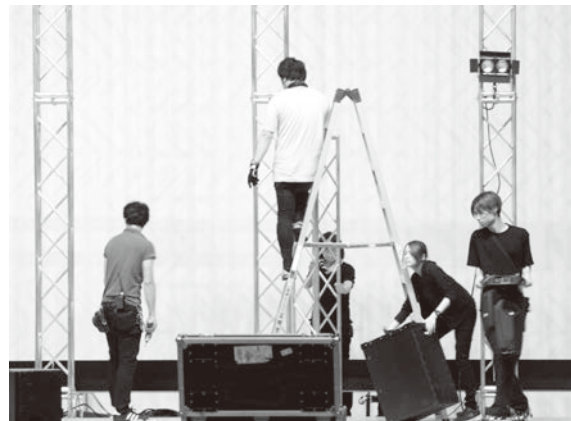
このような状況の中、両コースの学生たちは悲しみを乗り越え、各自の夢に向かって邁進しています。

7月21日(日)。森泉先生との突然のお別れに、やりきれない気持ちも冷めやらぬなか、岐阜県高山市に在する岐阜県施設の「飛騨・世界生活文化センター」からの依頼で「ザ・ベストテンコンサート」を開催いたしました。

出演はミュージカルコース。コンサート運営はエンターテインメントディレクションコースが担当しました。

このコンサートは1980年代前後にヒットしたJ-POPをボーカル、ダンス、生演奏で披露するものです。

このコンサートを開催するにあたっては、エンターテインメントディレクションコースの学生が、本番の前々日夜から現地入り。翌朝からの機材搬入や設営をし、出演者が到着するまでの間に舞台、音響、照明を整え、本番に向けて万全の体制を取りました。



本番当日、会場は同センターの「飛騨芸術堂」。開場前から観客の長蛇の列。当日券は完売、満席の観客で幕があがりました。



出演したメンバーは、客席からの温かい歓声や反応に、楽しみながらクオリティーの高い演奏を披露できたことと思います。

アンケートには、「来年も是非とも開催してほしい。」「若い人から元気もらった。」など、多くの好評をいただきました。

このような学生の実践の場をお与えいただいた、飛騨・世界生活文化センター様に感謝申し上げます。



8月31日(水)。ミュージカルコース試演会を、演者ミュージカルコース全学年、音響、照明、舞台をエンターテインメントディレクションコース2年生を中心に開催しました。

日頃はエンターテインメントディレクションコースの学生が、音響、照明を学ぶスタジオとしても使用する2号館中アンサンブル室が会場で、ムービングライトも8台装備しており、演目を引き立てる音響、照明で観客を魅了しました。

そのような会場で、ミュージカルコース1年、2年は「マンマ・ミーア」を。同コース3年、4年は「レ・ミゼラブル」と「シカゴ」を演じました。

客席は立ち見が出るほどの盛況ぶりで、公演終了後もミュージカルコース学生と、観客とが交流する微笑ましい場面もあり、後期試演会に向けて、よりクオリティの高い舞台が披露できるよう、期待が高まる思いでした。

さて、この次に控えているのは、あいちトリエンナーレ舞台芸術プログラムの公募で、本学企画が採択された公演、『ドラマチック・ミュージカルコンサート JAPANESE WONDERLAND 「情」に彩られたいにしへの風景への旅 ～振り返れば、そこには未来がある～』と題された、日本の歴史上、起こった事柄を、ジャズやポップスなどの楽曲に合わせたダンスや歌、演技等で表現する、コンサート仕立ての公演です。

もちろん構成、脚本は故森泉先生でしたが、公演内容のイメージは、関係教員や、業者に断片的に伝えていただいていたものの、大きな宿題を残されて他界されてしまいました。まるで、「おい。いつまでも頼ってるんじゃないよ!」と、言われている気がします。

現在、森泉先生から送られた各メールや、業者に話されていたことなど、パズルを組み合わせるようにして、主要教員で公演内容を組み立て、学生たちもスタッフに加わり、公演を成功させるべく一丸となって邁進しております。

年度内はまだまだ多くの本番が予定されています。北名古屋市ザ・ベストテンコンサート。後期修了公演、3月公演等々。これからのミュージカルコース、エンターテインメントディレクションコースにご期待ください。

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

3月9日(土曜日)、現在の「ポップス・ロック&パフォーマンスコース」の以前のカリキュラムである「ジャズ・ポップスコース」の卒業ライブが3号館コンサートホールにて開催されました。これはポップス・ロック&パフォーマンスも含むこのコースの学生にとって「卒業演奏」という必修の単位であり、まさに4年間の学びの集大成ともなるコンサートです。ジャズ・ポップス専攻コースとしての卒業演奏は来年(2020年)3月で最後となります。今回は7名の卒業生が、それぞれ自身のバンドやユニットをこのコンサートのために立ち上げ、リハーサルを重ねて本番に挑みました。「ジャズ・ポップスコース」の名の通り、アコースティックからエレクトリックギター、インストゥルメンタル、ソロギター、ジャズビックバンド形式など様々なジャンルと演奏スタイルで各自のスキルを存分に発表しました。また演奏だけに留まらず、オリジナル作曲作品やビッグバンドのオリジナル編曲まで、高いレベルでの総合的な音楽スキルも存分に披露し、訪れた聴衆の方々も大変満足された卒業演奏となりました。



6月13日(木曜日)、2号館中アンサンブル室にて、ポップス・ロック&パフォーマンス コース在籍する有志学生企画運営による“Pick Up Live”を開催しました。このイベントは毎学期コース学生の能動的な演奏参加を促すと共に、ライブの企画運営も含めてのライブ経験をしてもらう目的で始めたものです。毎回、エンターテインメント・ディレクション コースとの合同企画イベントとなっており、本格ライブハウス仕様となる中アンサンブル室の設備を総動員してのイベントです。このライブには1年生から4年生まで誰でも希望すればエントリーできるシステムとなっており、選出された4つのバンドが白熱した演奏を繰り広げ、観客である学生には大きな刺激となりました。



7月18日(木曜日)には、「NUAステーション・ライブ」を開催しました。これは、以前「ロビコン」と呼ばれていたもので、ポップス・ロック&パフォーマンス コースの合奏(セッション)授業を受講している学生が、学期末の発表として行うものです。毎週異なるジャンルごとに5つのクラスが開講されており、それぞれ担当講師のクラスからはアコースティック・ポップス、フュージョン・ジャズ、ヴォーカル・アンサンブル、ジャズ&ポップス、ロック&ポップスの多彩な内容でのオリジナリティー溢れる演奏発表が繰り広げられました。本格ライブ仕様の東キャンパスでの会場では、エンターテインメントディレクションコース学生の全面的な演出のもと、3時間近くにわたり開催され、これはまさにミュージックフェスティバルのような盛り上がりとなっています。



ポップス・ロック&パフォーマンスコース 教授 上田浩司

アートマネジメントコース

アートマネジメントコースは、文化施設を主なフィールドとして、文化政策や企画制作、施設運営の分野で活躍できる人材、つまり“プロデューサー”、“ディレクター”となる人材の育成を目指し、理論と実践のバランスをとりながら教育活動を行っています。大きな特徴は、数多くの「現場」に恵まれ、実践的に学ぶ環境が整っていることです。本稿では、各学年の春から夏にかけての取り組みを紹介します。

・4年生

学生たちは、4年間の集大成である卒業制作公演と卒業論文の準備を、就活と両立させながら過ごしました。今年の卒業制作公演は、昨年度の夏に関わった「こまぶんフェスタ」の事後調査(昨年度の日本アートマネジメント学会で発表)から得られた課題を克服するために立案した企画です。まさにPDCAとしての公演です。

卒業論文は、広く文化にまつわる社会の流れを批判的にとらえながら研究テーマを模索し、先行研究を調べました。後期の執筆も含め、論理的思考は今後の社会人生活に役立つはずで

・3年生

昨年度と同様に、3年生は8月終わりに行われる「こまぶんフェスタ」に関わります。今年は、昨年度の担当学年(現4年生)の経験を聞いたり、事後調査の結果を聞いたりして、あらたに「自分たちなりのこまぶんフェスタ」を創ろうという熱意で企画制作中です。暑い夏、インターンシップの合間を縫っての準備が続いています。



オープニングのスタッフミーティングの様子



芸術教養領域とのコラボレーションによる
カフェの様子

・ 2年生

秋に計画している、大学発の地域貢献事業「音楽の森」の企画制作をしています。オーケストラ公演に繋がる体験型イベントを、大学の資源をふんだんに使ってやってみよう！というもので、他コースの先生方とご相談しながら選曲にも携わりました。メインは「フィンランディア」(シベリウス作曲)。デザイン領域の力を借りてヴィジュアルデザインにもこだわっています。多彩な企画を制作するための役割を分担しながら、そして互いに補いながらチームでの作業がはかどります。

・ 1年生

毎年1月に行われている「てんぱく音楽祭」の一部をプロデュースしています。今年度はいつも会場としている劇場が改修工事のため、天白区民まつりの一部として行われることになりました。そのため、広大な公園、広くて青い空、という気持ちのよい環境の下で行われることになり、野外ステージの他、ワークショップやパレードなどを企画制作するという少しハードルの高いことに挑戦中です。1年生の初めての現場。頑張りましょう！



各学年のイベントを先輩後輩が手伝うことも多々あるアートマネジメントコース。昨年度から始めた月1回のランチミーティングも継続しています。先輩の知見を先輩が受け継ぐ良い機会です。

このようにアートマネジメントコースは、他領域横断、異学年横断、と視野と人脈を広げながら実践的に学んでいます。後期は理論を中心に学び、知識と自分の考えを言語化できるスキルも身に付けていきます。今後とも、ご父兄の皆様にはご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

声優アクティングコース

声優アクティングコースも2年目を迎えました。1年目はまさに手探り状態といった感じでしたが、2年目は、

「舞台にも立てる声優」を育てる為にはどんな授業が必要かを改めて考え、講師陣を揃え、新たな授業を開設しました。まずは、殺陣の授業です。現役の殺陣師の方を講師に迎え、生徒達は木刀を使い、本格的な殺陣のレッスンを始めました。これからの舞台には、アクションや殺陣は不可欠なので、これから3年間かけて、生徒達にはしっかりと技術を身につけて欲しいと思っています。そして、ナレーションの授業も新たに取り入れました。名古屋で活躍する現役のナレーターの方を講師に迎え、発声や滑舌の基礎からしっかりと教えて頂いています。また、声楽家の方にも講師に入って頂き、本格的な声楽のレッスンも始めました。さらに、アニソンの授業も、昨年までは1コマしかなかったものを、2コマに増設。人前で歌って踊れる声優を目指し、生徒達は楽しく授業に励んでいます。

7月に行われたオープンキャンパスでは、特別ゲストとして、アニメ「ポケットモンスター」主役のサトシ役を演じている人気声優の松本梨香さんをお呼びし、トークと歌を披露して頂きました。高校生の申し込みも80人近くにのぼり、大変人気のイベントとなりました。やはり、現役の人気声優と身近で触れあえる事は、高校生にとっても、在校生にとっても、声優という仕事をさらに身近に感じ、刺激をもらったものと思います。



声優アクティングコースはこれからまだまだ発展していくコースだと思っています。生徒達にとってより良い授業、より良い環境を求め、さらに努力をしていきます。

音楽ケアデザインコース

4月に入学した新1年生は、最初こそ緊張した面持ちでしたが、すぐになじみ、積極性と勤勉さを発揮して頑張っています。5月29日には、北名古屋市回想法センター、旧加藤邸にて開催された地域の皆様の集い、「初夏のミニコンサート」に参加させていただきました。1年生にとっては、はじめての学外での参加型音楽活動の実施で緊張していましたが、参加者の皆さんにあたたかく迎えてい

ただいて、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。



2、3、4年生も引き続き、勉学に励んでおります。理論的知識と実践経験どちらも大変重要な音楽療法の分野ですので、授業の内容は実際に動いて修得する作業と、文献などから知識を得る作業と多岐にわたり、学生にとっては大変なことも多々ありますが、それぞれの学生が関心を持って課題に取り組む姿は、非常に頼もしいものです。

6月29日(土)には、駿河台大学の馬場存先生をお招きして、「精神医学と音楽療法」と題した講座を開催いたしました。馬場先生は、精神科医であると同時に、音楽家、音楽療法士でもあるということで、大変幅広い活動をな



されています。当日の講座では、前半は学生対象に基礎からわかりやすく、そして後半は、ご自身の実践について理論と実感を交えながらお話しして下さいました。また、7月18日(木)には、福井県済生会病院の音楽療法士、柴田麻美先生をお招きし、「緩和ケアでの音楽療法士の役割」についてお話しいただきました。緩和ケアについて丁寧にご説明いただいた後、実際の現場の事例を紐解きながら、音楽療法士のできることにについて解説いただきました。両講座とも一般の方々のご参加も多数あったことが印象的で、今後も学生と学外の方々と共に学べる場を継続的に作っていききたいとの思いを新たに持ちました。

Facebook公式ページも随時更新しておりますので、ご覧いただけると大変うれしく存じます。

<http://www.facebook.com/meigei.music.therapy.caredesign>

音楽ケアデザインコース 准教授 伊藤孝子

ウインドアカデミーコース

今年度弦管打の姉妹とも言える新しいコースが立ちあげられました。「ウインドアカデミーコース」です。弦管打コースとの違いは、必要な技術や知識を吹奏楽に特化した形で学んで行くという所にあります。学びの核となるのは4つの柱(吹奏楽指導・指揮・楽器演奏・リペア)となりますが、これらを4年間かけて修得して行きます。

また今まで音楽大学ではあまり取り上げて来なかったキャリアアップといった教育も平行して行う予定です。卒業後は様々な分野での活躍が期待出来ると考えています。今後共「ウインドアカデミーコース」をどうぞ宜しくお願い致します。



アートクリエイターコースでは、今年度の美術領域特別客員教授であり、スーパー歌舞伎や平成中村座の舞台美術で良く知られる舞台美術家、金井勇一郎氏に「舞台美術概論」をテーマに3回連続の特別講演を開催しました。金井先生がこれまで手掛けてこられた数々の作品の制作についてレクチャーをして頂き、多くの学生が興味を持って聴講しました。



また北名古屋市と災害時相互応援協定を結んでいる鹿児島県南さつま市で開催された「2019吹上浜砂の祭典」5月1日～31日に、北名古屋市の代表としてのアートクリエイターコースの学生と教員が参加しました。今年の砂像テーマは、「リトルモンスター ～Change The World～」で、作品タイトルは「でらうみや～もんに浸かりたい!」として、愛知の美味しいものを、左官用のコテや油彩用のペインティングナイフなどを駆使しながら、短期間で巨大な砂山を彫り進めていきました。学生たちは海外招待作家たちと交流しながら刺激を受け、大作を完成させることができました。



アートクリエイターコースでは、北欧デンマークのVillage Association for Gludsted & environsとの交流の一環で、昨年6月末にデンマークのGludsted村で開催された“International ArtWorkshop in Gludsted 2018”に参加した日本画コース卒業生の磯部絢子とアートクリエイターコース卒業生の山本真弥圭が制作してきた作品と、これまでのレジデンスに参加した国内外作家の多くの作品を一同に、本学アート&デザインセンターで「AFTER DENMARK」展を6月21日～26日に開催いたしました。



AFTER DENMARK 2019

ISOBE JUNIO YAMAMOTO MATAKA

美術領域主任 須田真弘

デザイン学部 / 芸術学部芸術学科デザイン領域

今年度デザイン領域は、1年生193名の入学生を迎えスタートし、昨年度入学の最多の学生を含め、教育環境を維持すべくその対応に奔走しました。今回は、デザイン学部、デザイン領域の活動について、ファンデーション及び各コースからの学内外で行っている活動の報告をまとめました。

・フレッシュマンキャンプ

入学年度のスタートにあたる4月13日に、学生間及び学生と教員の親睦を深めるためファーストイヤーセミナーを行いました。今年度はデザイン領域・音楽領域・美術領域・芸術教養領域を合わせた全芸術学部1年生合同で、校内での実施となりました。西キャンパスの体育館で在校



生の出し物、中庭(クローバー畑)でバーベキュー、東キャンパスの音楽サークル「ジャンパ」の演奏、西キャンパス助手さん企画のゲームを楽しみました。非常に大人数でしたが、領域を超えた充実した内容となりました。



・ファンデーション

ファンデーションプログラム前期最終日にあたる7月26日に、特別講義として日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局 事業部部長の矢島進二氏に来ていただきました。グッドデザイン賞の変遷を辿ることを通じて、デザイン領野の拡がりや現代的なデザイン動向を知るいい機会となりました。

・ヴィジュアルデザインコースからの報告

◎昨年度後期、コース3年生が取り組んだ津島市との官学連携授業にて、優秀賞に選ばれた渡邊結機さんのロゴマークが、のれんとしてゲストハウス入口に設置されました。



◎知多市制施行50周年記念ロゴマークの公募に、コースから13名が参加し学内選考にて4名の作品が選ばれ応募しました。

◎こまき市民文化財団が行う文化事業「こまぶんフェスタ」の広報ツールなどの制作を、3名の学生が担当しました。



◎特別客員教授としてお迎えした田中晋先生の授業が始まり、3年生を中心に31名の学生が参加しています。タイポグラフィーの講義と実技課題が並行して行われ、後期にはプレゼンテーションと講評を経て、課題作品を展示する予定です。



◎2年生の学外研修として、円頓寺商店街にてフィールドワークを行いました。街中にある文字を収集・分析し、オリジナルのフォントを作成しました。

・イラストレーションコースからの報告

5月、イラストレーションコース4年生による「PLAYGROUND展」を開催しました。3年次の「遊び」をテーマにしたグループワークによる制作物の展示です。「遊び」の概念を各自咀嚼し、5つのグループごとに制作しました。

「遊び」をゲームと捉えたグループは3つあります。遊び=ゲームと直結する想像力はやや短絡したように思いますが、ゲームとは何か、という根本の追求から始めイラストレーションならではの豊かな表現に繋げる試みとなりました。「草遊び」を感傷的なノスタルジーに絡めつつ、遊びの根源と捉えて表現しようとしたグループは、最終的に物語形式の表現となりました。表現が完成しておらず未消化感は否めませんが、着眼点は良かったように思います。車窓を流れる風景に別のイメージを重ねる空想を「遊び」と捉え、これをテーマにしたグループは映像作品を制作しました。やはり技術的に未消化に終わりましたが、「遊び」というテーマを独自に解釈しつつ作品に到達しようとした点は評価できます。

個人制作に集中しがちな環境にあつて、共同作業はさまざまな困難もあつたようです。また、これまで展示そのものの機会が少なく、展示に関する基本的な訓練を兼ねた課題でもありました。全体的に表現の稚拙さは否めませんでしたが、卒業制作を控え、展示に関する心構えが育っていていることを期待しています。



また、同じく5月に瀬戸内国際芸術祭の見学ツアーを行いました。ドイツからの留学生を加えた観光気分の楽しいツアーでしたが、実際の作品に直に触れる機会を得て、参加者のその後の制作に対する態度に変化が現れたのは印象的でした。

広小路中央商店街イラストマップ制作は、3年生が昨年度から継続して取り組みました。6月に商店街組合に対してプレゼンテーションを行い、成果を発表しました。広小路という特殊な環境における多様なステークホルダーの要望に翻弄されつつ、5グループがそれぞれ取材を重ねて制作しています。今後5グループから1作品を選び、ブラッシュアップを重ねた後、実際のマップとして制作される予定です。



2年生、3年生の授業では、地元名古屋で活動中のイラストレーターうつみちはる氏をお招きし、現場の生のお話と実践的な課題制作を行いました。サンリオ勤務時代の経験や現在主婦でありながら名古屋で活動が続けるという仕事のノウハウなどを伺いました。

コースでは本年度から、新規スタッフを迎えてさまざまな変革を試みています。軌道にのるにはまだ時間がかかりそうですが、複雑な社会に対応できる人材を育てる意識を持ちつつ、積極的に外部とつながる取り組みを増やしていく予定です。表現に貪欲な学生たちのエネルギーを、多様な機会に接続できるように取り組んでまいります。

・メディアデザインコースからの報告

メディアデザインコースでは、毎年春に自身の研究・制作に役立たせるための学外研修を行っている。

今年度は5月に3、4年生合同で京都研修を行い、市内各地で展示される「京都国際写真祭2019」を訪れ、写真メディアと展示について学んだ。また2年生は7月に三重県・答志島を訪問し、その島について感じたことを写真で撮影し、自分だけの島のイメージ(肖像)を立体作品としてかたちづくる制作に取り組んだ。



学外研修「京都国際写真祭2019」



学外研修「三重県・答志島」

・メディアコミュニケーションデザインコースからの報告

今年度前期の活動としては、継続している連携事業2件、東京研修。(2年生は6月メディア芸術祭他、3年生は7月にTOKYO ART BOOK FAIR、ボルタンスキー展他)前後期またがるプロジェクトとして大府図書館展示(会期～10月20日迄、後期報告予定)澁谷克彦特別客員教授の講義ワークショップ(後期に作品発表予定)などがある。

昨年より連携事業を実施している豊橋自然史博物館の夏の企画展示(7月12日から)での大型イラストの協力は「深海」がテーマ。3月の打ち合わせで、今年は会場でトリックアートが体験できるようにしてほしいとの要

望があった。4月中旬より4年生のイラスト精鋭チームと豊橋自然史博物館にてかけ、今回担当の研究員の方々と博物館の深海に関するまた関連の生物や生態など時間をかけて説明を受け、リサーチを開始した。5月連休明けには教室に実物大スペースをつくり生態や環境などの資料をあつめながら深海の世界を展開していく。資料をもとに生物の特徴、原寸サイズや細部にこだわりながらトリックアートのリアリティが創り出せるまでドローイングを進め、出来上がった下絵を撮影しデジタル描画で仕上げた。描いた生物は全部で32種類。トリックアートの技法は未知であったが学生の描写力とチームワークは万全で、とても高い評価を得ることができた。

MCDでは学外と様々な提携事業を行うことで、在学中に社会の要求に対応する協働を体験し、個人制作の発展につながるコミュニケーション力や応用力を身につけていく。



ダイオウイカとマッコウクジラの戦い(特別企画展会場)
深海の生き物たち(豊橋駅構内)

・ライフスタイルブロック

ライフスタイルデザインコースからの報告

デザインがどのように私たちの生活と密接に関わっているのかを知り、その本質へと実行力を持ったデザイン提案ができるよう、ライフスタイルデザインコースでは、



北名古屋市役所西庁舎での3年生実技授業展示と
プレゼンテーション

現場での学びを大切にしています。その一環として、各地の自治体や企業とも連携し活動する機会を多く用意しています。2019年度前期には、北名古屋市プロモーションムービー制作プロジェクトが開始され、堤幸彦監督監督のもと映像制作が行われています。参加した学生たちは北名古屋市の伝えるべき魅力を探るため、市内の場所や人の調査からプロジェクトを開始しました。このプロモーションムービーは10月の完成公開予定を目指し進められています。また、北名古屋市とは授業内での連携も深めており、3年生の実技授業として行うフィールドワーク(屋外調査)のテーマフィールドを北名古屋市内と定め、学生たちの作品を市役所西庁舎内に展示させて頂く機会を設けました。多くの市民や市役所の方々にも成果作品を見て頂き、プレゼンテーションしフィードバックを得ることができました。

また、レゴランド・ジャパンとの産学協同事業として、グッズ制作の開発プロジェクトも始まりました。レゴランドを実際に訪問しレゴランド・ジャパンから会社の体制やグッズ制作の方針などの説明を受け、現場で直接、運営方法や来客者の行動リサーチを行うことから開始されました。今後、アイデアを模索し、リサーチを重ねるなど丁寧に段階を踏み、年度内に新たな切り口からの商品開発提案を目指しています。



レゴランド・ジャパンとの産学協働による
商品開発プロジェクト、
レゴランド・ジャパンから説明を受ける

これらのプロジェクトは、他領域・他コースとの連携のもと多くの異なる専門性を持った学生らが集まり一緒に進めていることも特徴的です。北名古屋市のプロモーションムービー制作では、メディアデザインコース、アートマネジメントコース(音楽領域)、音楽総合コース(音楽領域)の学生とも一緒に活動しており、レゴランドでの商品開発では、ヴィジュアルデザインコース、デザイン領域1年生とも協働しています。

また今年度より”Lifestyle Design Thought and Talk”と題し、社会的関心事や現代的な課題をデザインの視点から熟考するための機会として、外部からゲストを招き行うレクチャーシリーズも開始しました。これまで、ドキュメンタリー映画制作を通じて社会課題を問ひかける戸田ひかる氏、認知症にデザインでアプローチしているNPO法人 issue+design の稲垣美帆氏らを招き開催されました。今後も多彩なゲストを交えながら、学生たちと同時代的なデザイン領域やその在り方について深く考える機会としていきたいと考えています。このレクチャーシリー

ズはライフスタイルデザインコースだけでなく積極的に広く全学へ公開し行われており、他コースとの接点としても機能すればと考えています。

また、7月には学外研修として大阪万博公園などを訪問しました。2025年には新しい大阪万博の開催が予定されており、1970年当時にデザイナーやアーティストらが果たした役割などについて知る機会ともなりました。

今後もライフスタイルデザインコースでは、生活と社会の現場への深い理解に根ざしたデザインを生み出すための教育と実践を重ねていきます。



大阪万博公園での学外研修

・テキスタイルデザインコースからの報告

●布仕事マルシェ参加(JR名古屋タカシマヤ4月17日~23日)

3年生の後期に織物組織からデザインして、尾州産地が製織したオリジナルの布の販売を、タカシマヤで、4年生になった学生が自ら行いました。尾州毛織物産地との産学連携プロジェクトは3年目です。服や服飾小物を手作りしているお客さんが多数来場し、学生が布のコンセプトや完成までの長いプロセスを説明すると、感動してくださる方もいらっしゃいました。エンドユーザーに直接、自分の考えを伝えることができるこの機会は、学生にとって大変良い体験になりました。



●テレビ放映 出演

NHK情報番組「まるっと!」5月9日

去年度、欧州で活躍中のSUZUSANクリエティブ・ディレクター村瀬弘行氏をディレクターに迎え、「有松絞



りて手ぬぐいのブランドを作る」というテーマで授業を行いました。有松絞りまつりでの販売に先駆けて、その授業の様子がテレビ番組で紹介されました。

●有松絞りまつり 参加

有松東海道一円 6月1日、2日

有松絞り産地との産学連携プロジェクトは10年になります。今回から始めたブランド開発は、学生がコンセプト作成、生産、ショップのプロデュース、販売まで全てのプロセスを行いました。生活に馴染む手ぬぐいをコンセプトとした「suisai」、ナチュラル志向のある人に向けて作られた「nukunugui」という2つのブランドが出来ました。沢山のお客さんに購入いただき、以前に増して評判が良かったです。



●オリリズムⅣ いま、なぜ手で織るのか/空間を彩る織作家12人展 開催

アート&デザインセンター 6月14日～19日

オリリズム展は、活動開始から10年になるタペストリーの魅力と可能性を追求する若手、中堅織物作家のグループ展です。機械化、デジタル化が主流となった現代において、あえて手で織ることを選択している12名の織作家たちが、大型タペストリー16点をアート&デザインセンターの全室に展示しました。東海地域でこのような展覧会はほとんどないので、学生に見せたいと思い、本学で開催しました。6月15日、B棟大講義室でのシンポジウムでは、東京、関西など全国各地から多数の方々が来場され、アート&デザインセンターでのオープニングパーティーでは、会場に人が入りきれないほどの盛況でした。



●Institut Français de la Mode, Parisと本コースとのコラボレーション

Institut Français de la Mode, Parisは、テキスタイル・モード・ラグジュアリーブランド産業の大学院大学で、卒業生の多くがハイブランドで職を得るようなファッションのエリート校です。昨年度客員教授の齋藤統のご尽力によって実現しました。両校からコラボレーションをしたいという学生を募ってマッチングを行い、4年生の中

嶋すみれさんとJun LIAOさん、平光瞬さんとMaros BARANさんの2組のチームができました。本学の学生が布をデザイン、IFMの学生がその布を使って服を作成しました。布作成は、尾州産地の足立聖氏にご協力いただきました。学生らは、デザインプロセスで尾州産地に何度も足を運び、相談を重ねて製織に入りました。パリとのデザインのやりとりはメールやビデオチャットを活用して行い、打ち合わせを重ねることで英語力も向上していきました。平光さんのコメント。「これまでは自分の作品を作るということで自分だけで完結していましたが、ファッションデザイナーとテキスタイルデザイナーという立場で、考えや知識の違いがわかりました。自分が何をすべきなのを意識できたことがとても良い経験になりました。」



●素材展 開催

アート&デザインセンター 7月26日～7月31日

2, 3, 4年生前期制作展。今年は2, 3年生の前期課題作品と4年生の卒業制作を一緒に展示したことで、コースの教育が一堂に見渡せる良い機会になりました。

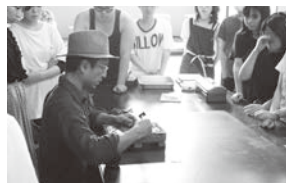
・メタル&ジュエリーデザインコースからの報告

西キャンパスX棟中庭ガラスケースでメダル展示をいたしました。ポーランドのニコラス＝コペルニクス大学主催のINTERNATIONAL MEDALLIC PROJECT 2019 "BORDERS"です。ケース内には名古屋芸術大学の出品作品を展示し、ガラス面には参加大学のNational Academy of Art in Sofia, Bulgaria Academy of Fine Arts of the University of Zagreb, Croatia Faculty of Fine Arts Universidad Complutense de Madrid, Spain VAA Telsiai faculty of arts, Lithuania Art Academy of Latvia Faculty of Fine Arts of the University of Lisbon, Portugal ARTISTIC SCHOOL ANTONIO ARROIO, PORTUGAL Faculty of Fine Arts at the Nicolaus Copernicus University in Toruń, Polandと名古屋芸術大学の参加者の画像とともにQRコードで各校の参加作品をオンラインで閲覧できるようになっています。ニコラス＝コペルニクス大学のウェブサイトはこちらになっています。

<http://www.rzezba.umk.pl/?borders> -international-medallic-project-2019%2C355



アート&デザインセンターで7月19日より24日まで、コース前期発表展「素材展」を客員教授の彫金作家秋濱克大氏の展覧会とともに開催しました。関連イベントとして秋濱克大講演会(B大講義室 7/24 水)、秋濱克大ワークショップ(メタル工房 7/23 火)、メタル&ジュエリーコース教員展(Xギャラリー 7/19金 18± 22月)を開催しました。



秋濱克大ワークショップ
(メタル工房 7/23)



「素材展」学生展示
(アート&デザインセンター7月19日~24日)
メタル&ジュエリーコース教員展
(Xギャラリー 7/19 18 22)

・インダストリアル&セラミックデザインコースからの報告

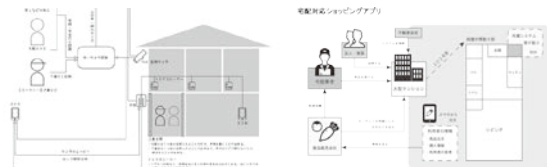
●ナガサキ工業株式会社との産学協同プロジェクト
今回4回目になるプロジェクト。今年度のテーマは「グランピングBBQ周辺アイテムのデザイン提案」参加学生は3年IDと4年ID&CD30名、工場見学の次の週にキックオフとして、BBQ体験をしながら必要なアイテムのアイデアを抽出、その後毎週ナガサキ工業オリジナルブランド「flames」にマッチングしたアイテムの提案と試作を繰り返し、7月5日最終プレゼンテーションを行った。30提案の中から、7作品程選抜し、9月以降に学外のアウトドアカフェで展示会を行い、人気案を商品化に向けて展開してゆく計画。



●ドアホン 産学協同デザインプロジェクト 2019/4-5
デザイン学部インダストリアルデザインコース(以下、IDコース)では、大手ドアホン・インターホンメーカーであるアイホン会社の依頼により将来的に発売予定される『ドアホン・インターホンのデザイン開発プロジェクト』を受託し、製品企画、提案を伴ったデザイン開発をプロジェクトとして行い、産業と大学の結びつきを示し、産業の活性化に貢献いたしました。

このデザインプロジェクトは、様々なユーザー、生活スタイルを観察し、分析し、それぞれのシーンを想定し、楽しいコミュニケーションができるような機器やシステ

ムをデザインにより提案しました。これらのコンセプトを実現するための映像解析、ワイヤレス、セキュリティー、スマートホン連携の技術の理解と応用や、関連事業者の宅配業社、ネット通販事業、ホームセキュリティー会社、不動産/賃貸業社、住宅施工会社および行政とのつながりを含めビジネスモデルの構築を視野に入れてシステムをデザインすることを学生には体験と学びとする。8名のIDコースの各学生が2チームに分かれ、プレゼンテーションし製品企画案として提出させていただきました。



●文具産学協同デザインプロジェクト 2019/6-7

デザイン学部インダストリアルデザインコース(以下、IDコース)では、中部文具工業協同組合所属の文具メーカーであるシャチハタ株式会社/森松産業株式会社/株式会社馬印/株式会社デビカとの産学共創で文具デザインを行いました。学生生活の中からの新たな商品提案し、実践的なデザインにより製品化を目標とし、産業と大学の結びつきを示し地域の活性化に貢献するとともに学生はデザインの実践を体験し、能力の向上を図る。今回は、各社からジャンルおよびテーマを提示してもらい、学生ならではのコンセプトで文具に関わるデザインを提案した。8名のIDコースの各学生が一人4案、32案をコンペ形式にて各社にプレゼンテーションし最優秀デザインを選び、製品企画案として採用検討していただくことで実技授業の実績として評価した。



●「ダンボールを使ったツール展」開催

2年 ID&CD 学生22名の前期最終課題ツールの展示会を和室で行った。最終日に「座る強度に耐える作品か?をポイント」に講評会を行い、各自制作過程で内部構造の重要性を繰り返し試作し、力を出した作品は高評価を受け、やりきった満足な表情をしていた。



・カーデザインコースからの報告

カーデザインコースでは、8月22~23日に自動車技術会と共同開催で第7回『二輪デザイン公開講座』を開催しました。

この講座は、日本最大の学会である公益社団法人自動



スペースデザインコースでは、前期の授業の終盤にコースの活動を内外に知ってもらう為、また、それぞれの制作のフィードバックができるよう学内のギャラリーでコース展示を行っています。作品と空間が一体化した展示空間を学生自らで作りました。



・文芸・ライティングコースからの報告

文芸・ライティングコースでは、人間発達学部との共同開催で、グラフィックデザイナーで絵本研究家のパスカ



パスカル・アンペール氏と共に

ル・アンペール氏をフランスからお招きして絵本のワークショップを行いました。「終わらない本」というテーマで、学生一人一人が自由な発想で本の形と考え、そこに描く物語のイメージを膨らませました。また、6月には、演出家の深澤伸友氏と俳優の榎原忠美氏に「私たちの演劇」というタイトルで、劇団クセックACT創立の経緯や、リーディングシアターについて講演して頂きました。8月には学外研修として名古屋を本拠地とする「優しい劇団」の稽古を見学すると共に、主宰の尾崎優人氏からお話をうかがいました。昨年度と同様に、声優・アクティングコースおよびサウンドメディアコンポジションコースとのコラボレーションによるラジオドラマ制作も進行中です。

昨年に引き続き、一年をとおしての企画、「ワタシタチの本棚2019」も始まり、6月1日にコースの学生とスタッフ全員でBOOKOFFとジュンク堂書店で選書を行いました。前期の間に選書した本をもとに各自が本棚を作り、購入レポートを執筆しました。また、昨年度完成した「ワタシタチの本棚2018」をベースに、8月の1ヶ月間、ジュンク堂書店名古屋栄店の話題書コーナーで、産学協同のブックフェアが開催されました。



ジュンク堂書店でのブックフェア

芸術学部芸術学科芸術教養領域

ここでは芸術教養領域の2019(H31)年度前期における学生の授業内外の活動を中心に報告します。本領域の活動全般を知りたい方は、本誌バックナンバー(63~66号)や、芸術教養領域のWEBサイト(<https://www.nua-la.jp/>)もご高覧ください。

三期生を迎えた芸術教養領域

何度かこの欄に記してきた通り、芸術教養領域は2年半前の2017(H31)年4月にスタートしました。本領域では、芸術を含む幅広い教養を身につけ、社会で活かすことを目標としています。AIや、無人操縦輸送機などの技術が日進月歩で発展することにより、大変革が起こりつつある現代社会で、卒業生たちが自らと周囲とコミュニティを支えていく力を涵養するためです。このことを念頭に、本領域のカリキュラムは、いかなる分野でも必要と考えられるビジュアル・サウンド・日本語・英語・情報五つのリ

テラシーの科目と、視野を広げる科目、グループワークの科目を中心に構成されています。

平成から令和への改元日の1カ月前、第三期生にあたる新1年生約30名が、西キャンパス体育館を会場とする入学式に出席しました。その日から新入生は、教務学生課などのオリエンテーションを受け大学生としてのスタートを切りました。翌日の4月2日、領域の教員や助手、一期生のアシストのもと、時間割を組む作業を行いました。当日の午後、上級生が中心になって準備した新入生歓迎会の席でも、緊張しつつも自己紹介などをこなしました。

三期生には、一期生、二期生同様、音楽に親



新入生歓迎会の様子(4/2) 上級生が選んだ軽食を手に歓談

しんできた人や、美術作品の制作に打ち込んできた人など、多彩な趣味を持つ人が集まりました。遠方から初めて下宿生活を始めた人も少なくありません。大学内外での多様な人々との出会いも、カリキュラム以外に重要な学びとなるでしょう。

前期における新入生の学び

上述の通り、本領域では、ビジュアル、サウンド、日本語、英語、情報の五つのリテラシーを身につけるための科目を複数設定しています。

1年生は前期の初めから、視覚的、聴覚的なりテラシーを養うための科目(視覚文化、ビジュアルリテラシー1、サウンドリテラシー1)を履修しました。ここでは、様々な作品を鑑賞し、その見方を学び、着信音を作るなどの課題をこなしました。7月上旬に西キャンパスB棟ギャラリーで開催された芸術教養領域レビュー展では、2年生、3年生のパネルを中心とした作品と並んで、授業で作成した着信音作品とともに、自身を表現するヴィジュアルボックスを展示しました。

また、視野を広げるために設定されている「人類生存のための教養」を受講しました。この科目は芸術学部ができた後の全学部・全領域の学生が対象となっています。西キャンパスで開講されたため、多数の美術・デザイン領域生、そして2年生、3年生も履修しました。この科目は、本領域開講科目を担当する専任教員の講義を中心として構成されています。本領域以外の教員からは、プログラミングと社会、生と死を表現するメディア・アート、英語でクリティカルに思考し表現することについての講義がありました。本領域教員からは、言語学、デザイン、技術、人類学などについての講義がありました。本格的に暑くなる前の6月最初の日曜には、名古屋市昭和区にある鶴舞公園で学外授業も行われました。

本学では全学共通の必修科目として、一年次前期に、「英語1」、「コミュニケーション英語1」、「情報メディア演習」、「大学生になる」が設定されています。新入生もここで、英語の基礎、PCの扱い方や基礎的なソフトの使い方、口頭発表やレポートの基本を学びました。

また、隔年開講の「海外研修」は、全学年対象で、8月に海外へ行きます。これは必修ではなく選択授業のため、全員履修しているわけではありませんが、1年生から3年生まで様々な学生が参加します。

前期における2年生、3年生の学び

前項で記した「海外研修」のように、本領域では学年をまたいで開講される科目が複数設けられています。今年度前期は「プロジェクト1」、「教養と地域文化2」が2年生と3年生対象の必修科目でした。前者では、学生が学内の問題を自分たちで発見し、それを解決する提案をグループで行いました。後者では、学生は学内外の5人のゲストのさまざまなお話を伺い、それをレポートでまとめました。

また、2年生は「英語リテラシー1」という授業で英語

の歌詞を翻訳するなどし、「日本語リテラシー2」では書籍の紹介を行うなど、アートにも深くかかわることを学びました。「コミュニティ論」や「マーケティング」などを履修した学生が、グループ毎にまとめた作品を「レビュー展」会場で展示・発表しました。

3年生は、「文化と経済」、「現代文化と思想」、「社会情報論」、「ムービー制作」、「ビジュアルプログラミング」などの科目を選択した人も比較的いました。必修の「セミナー1」では、卒業研究・卒業論文に向けて本格的な文章トレーニングや調査の重要な部分を学びました。

以上の成果は、上記レビュー展でパネルとレポート、動画、音楽などの形で展示を行いました。



レビュー展(7/5-10) 学生が授業で制作した作品を多数展示

公開講座(1)

本領域では、貴後援会の助成で2017年度から毎年3回ずつ公開講座を行っております。ここで改めて感謝申し上げます。今年度は前期に2組のゲストをお招きし、お話を学内外の方々に聞いていただきました。いずれも学内外の多数の人がご来場くださいました。

今年度最初の公開講座は、アニメ・プロデューサーの植田益朗氏による講演会でした。タイトルは、「リベラルアーツ × アニメ 未来のリハーサル アニメの企画・プロデュース 世界的デザイナー シド・ミードとの邂逅」です。5月11日(土)、本学西キャンパスB棟大講義室にて開催しました。本領域ではアニメーターのように直接絵を描く人ではなく、プロデュースする側の人を養成したいため、植田氏のお話は学生にも役立つだろうと考えて招聘しました。

氏は、アニメ制作で有名なサンライズに入社直後から、伝説的アニメーション作品の初代ガンダムシリーズの制作進行としてスタッフに加わりました。いわゆる「子ども向け」ではなかったガンダムの視聴率は低迷し、打ち切りが決定したものの、中高生以上の若者では人気は急上昇し、映画化の声がかかりました。植田氏は先輩スタッフが次々と辞めて行くなか、重責を負うようになり、伝説の『機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙(そら)』ではプロデューサーをつとめられました。その後も人気作品を担当され、フリーになった後は『犬夜叉』、別会社では『ソードアートオンライン』、『黒執事』、『あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない』など、数多の人気作品を世に送り出されています。

氏は今年、世界的なデザイナーであるシド・ミード氏の個展を東京で主催されました。この展覧会は連日長蛇の列ができるほどで、開催期間が急遽2週間延長されました。ちなみに、シド・ミード氏は、元々はカーデザイナーでしたが、伝説的な名作映画『ブレードランナー』の世界観をデザインしたことで、知名度が飛躍的に上がり、「ヴィジュアル・フィーチャリスト」の名称も冠されるようになりました。

植田氏は講演後、聴衆の方々との記念撮影、個別の質問やサインなどのリクエストに快く応じてくださいました。



植田益朗氏の講演会(5/11)
多数のファンとの記念撮影を快諾

公開講座(2)

今年度2度目の公開講座は6月30日(日)、「アートラボあいち大津橋」で開かれました。講演タイトルは「リベラルアーツ × 震災 × 協働」です。ゲスト講師は、アートユニットを組まれている小森はるか氏と瀬尾夏美氏でした。お二人は東京藝大卒業直後の東日本大震災の直後に、津波で甚大な害をこうむった陸前高田市に移住され、現地の方々との人間関係を構築しながら、対話の場を作るなどのアート活動を続けていらっしやいます。その一端は、日本各地で開催している巡回展の「波のした、土のうえ」、「遠い火 | 山の終戦」であらわされています。お二人は、陸前高田で数年を過ごした後、2015年、東北各地で活動する仲間とともに、土地と協働しながら記録をつくる組織の、一般社団法人NOOK(のおく)を起動され、拠点を仙台に移されました。

今回は、はじめに少し「物語」についての説明があった後、陸前高田を舞台にした映像作品「二重のまち / 交代地のうたを編む」が上映されました。その後はお二方のトークが長く続きました。この司会をつとめられたのが、「せんだいメディアテーク」で市民協働・震災アーカイブの「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を担当されている水谷仁美さんでした。この会場には上映された映画に出演した俳優さん達の一部も来られました。

震災の、想像を絶する被害を、世代を超えて伝えるには「物語」が必要、と仰るお二人の映画と講演は、人間を調査対象とする文化人類学などでも指摘される、「調査される側・調査する側」の構造的な問題があることを改めて意識させられました。同時に、アートの世界でも「描かれる側・描く側」という、同じような問題が横たわっていることも理解させられました。そして、戦後70年を超え、直接の被害者が徐々にこの世を去っている戦争でも原爆でも語り手がいなくなる、発災後20年以上経ち、いまだに傷が癒えない阪神淡路大震災のことも想起させられました。



小森はるか氏・瀬尾夏美氏の
講演会(6/30)
説明をする小森氏と瀬尾氏

チュートリアル

芸術教養領域では、学生と教員の個別面談(チュートリアル)を毎年3回ほど行ってきました。今年度は、学生数が増え、それが難しくなっています。しかし、特に新

入生には手厚いケアは欠かせないという考えのもと、4月下旬に初回を1年生対象に行いました。入学後の楽しい生活を語る学生もいれば、さまざまな不安や悩みを打ち明けてくれた学生もいました。

前期の授業が終了した7月下旬～8月上旬にかけて2回目を行いました。このチュートリアルは1年生と、就職など卒業後の進路を考え始める必要のある3年生が対象です。ここでも、学生は担当教員に多様な話をしてくれました。2年生は9月に行う予定です。

オープンキャンパス

今年度は7月7日(日)に最初の大きなオープンキャンパスが開かれました。本領域では1年生から3年生までアルバイト希望者が多数おり、彼らが東西キャンパスで活躍してくれました。西キャンパスでは、上述した「レビュー展」開催期間中で、そこで助手の王さんとともに二人の学生が説明してくれました。

東キャンパスのバイト学生は、総合受付、2号館ロビーでカフェコーナー、相談コーナーで、それぞれお客さんに対応してくれました。また、視覚詩を作るワークショップや、動物の音声を加工して通知音を作るワークショップでも、担当教員や助手の中森さんとともに活躍してくれました。

特にカフェコーナーに関しては、バイト学生の一部が、前々日の金曜日の晩、レビュー展の初日にあった講習会・プレゼンテーションを終え、準備に動んでくれました。



オープンキャンパス
(7/7)
カフェコーナーでドリンクづくりに精を出す学生たち

後期に向けて

後期は、また別科目の授業が始まります。1年生は、前期に引き続き、視覚的、聴覚的リテラシーを養う「ビジュアルリテラシー2」、「サウンドリテラシー2」、「サウンド文化」を受講します。言葉のリテラシーについては、全学の学生が受ける「英語2」「コミュニケーション英語2」「日本語表現」だけではなく、本領域の学生が全員受ける「日本語リテラシー1」も開始されます。また、「教養と現代1」や「異文化体験」など視野を広げる科目も受講します。前者ではさまざまな分野の研究者のお話を聞き、後者では学外の観察と学内での解説があります。

2年生、3年生は徐々に必修の授業が減り、自分で選択する幅が一層広がります。彼らはそこで、これまでの学びを活かし、さらに学識を深めていくことでしょう。

我々教職員は学生の学修と、それと深く関係する心や生活をサポートしていくよう、一層研鑽していく所存です。

芸術教養領域 教務学生主任 准教授 茶谷 薫

人間発達学部

人間発達学部では、新たに導入した2年次での4コース制の授業が、今年度始まりました。1年次の「ファンデーション科目」で学修したことを基に、自分のなりたい方向性を絞って選択したコースで、より高い専門性を身に付けられる授業が実施されています。

○主な授業内容

◇保育・幼児教育コース

・地元保育園での保育体験等

◇学校教育コース

・地元小学校で授業見学・行事参加等

◇発達福祉コース

・地元児童発達支援事業所でボランティア

◇子ども芸術コース

・幼稚園で絵本読み聞かせ・楽器演奏等

学部行事

●新入生歓迎オリエンテーション

4月1日に入学した新入生が、安心して大学生活のスタートがきれいに、また、4年間共に学ぶ仲間とのつながりが少しでも早く持てるようにとの思いから、4月5日に東キャンパス内で新歓オリエンテーションを行いました。新4年生の実行委員が企画・進行役となり、入門ゼミごとに分かれての自己紹介から始まり、午前中はゼミ対抗「紙飛行機大会」、昼食をはさんで午後からは、ゼミ対抗「運動会」など、体を動かしながら楽しく仲間づくりを行いました。その様子をご紹介します。

◇「まずは、マイ名札づくりです。なんて呼ばれたいかで書いていいですよ。」



◇「さあ、午後からはゼミ対抗運動会だよ。1年生のみんな頑張るね。初めはバランスボール・パステゲームです。」



◇次は大縄跳び。2人が回し、12人で跳びます。息を合わせるのに苦労しながら、どのゼミも10回を超え、最高30回越えのゼミもありました。ゼミとしての息もぴったり合うようになりました。



◇最後は「ジャンケン列車」です。音楽に合わせて進み、音楽が止まった瞬間



に出会った同士でジャンケンし、負けたら後列になります。今度はゼミを超えて、新1年生としての関係も深めることができました。

◇最後に1年生代表

が、実行委員の4年生にお礼の言葉を伝えていました。



企画・準備してきた

実行委員もやり甲斐を感じたことでしょう。「3年この大学で過ごしていくと、こういう行事をつくって下級生を安心させることができるようになるんだぞ!」とでも言っているように、逞しく見えた実行委員の4年生達でした。

●文化創造セミナー

専門的知識をもつ講師の講話や実技指導などを通して、学生の学習意欲の向上を図ることを目的とした恒例の文化創造セミナーを、5月18日に行いました。今年度は、フランスの優れた絵本を世界中で紹介・普及されてみえる、フランスの絵本研究家パスカル・アンベール氏が来日された折に、3号館2階の音楽ホールにて、特別記念講演を行っていただきました。

映像を通してフランス人作家の絵本『ぞうのババール』(評論社)『すてきな3にんぐみ』(偕成社)『リサとガスパール』(ブロンズ新社)



などを紹介して下さりながら、フランスの絵本では、芸術的感覚を磨くための色彩にこだわったり、子どもたちが普段体験できない「こわさ」を魅力にできるように構成したりするなどの工夫をしているとお話されました。約200人の学生は熱心にメモをとり、質問して、絵本に対する見方を深める機会となりました。

●幼稚園教員採用説明会(キャラバン隊)

6月12日(水)4限 愛知県私立幼稚園連盟の役員の方々が愛知県の私立幼稚園の説明(PRキャラバン隊)に来ていただきました。また、本学を卒業して私立幼稚園で先生として活躍されている2名の先輩も来て下さり、先生の仕事や園の様子、やりがいや就職に大切なことなどを後輩である学生たちに話していただきました。そして、説明や先輩のお話のあと、学生たちの質問にも丁寧に答えていただきました。



学務部報告

今回は、学務部報告といたしまして、平成30年度就職状況、学務部の取り組みの2点についてご報告・説明をさせていただきます。

平成30年度就職状況について学部ごとにご説明いたします。

深刻な人手不足を背景に、新卒市場は学生に優位な売り手市場が続いています。

大学生が勉強に集中できる期間を長く確保するために、安倍首相の要望を受け経団連が定めた、採用広報活動開始が「3年生の3月」、選考活動の解禁が「4年生の6月」という就職・採用活動のルール「採用選考に関する指針」が、現在の大学2年生が対象になる2021年春入社就活から廃止されることが発表されました。今後、企業の採用活動は新卒一括採用から通年採用に移行していくといわれており、採用活動がますます早期化するのではないかと考えております。

音楽学部の就職率は、96.5%でございました。昨年度が96.7%でしたので、好調な就職を持続しております。特色といたしましては、平成30年度は、公立学校教員に12名が採用されたのをはじめ、愛知県警(音楽隊)、岐阜県警(音楽隊)、名古屋市消防音楽隊、防衛省自衛隊(海上自衛隊音楽隊)等、公務員採用が多いことが大きな特色となっています。また、音楽講師、音楽家の合計が10名と、専門性を活かした進路選択が可能となっています。一般企業についても、ヤマハ、カワイ、各地の音楽ホール、劇場等、本学における学びを活かした就職が多いことが特色となっています。

人間発達学部の就職率は、2年連続で100%を達成いたしました。特色といたしましては、人間発達学部は教員養成・保育系学部でございますので、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の資格を活かした就職が中心であることです。内訳については、公立小学校教員、私立幼稚園教員17名、保育所、福祉施設等へ41名が就職しており、卒業生82名に対して約71%が本学で取得した免許・資格による就職をしています。

美術学部・デザイン学部の就職率は、それぞれ、89%、82%で合計しますと、84%でございました。美術学部の進路の特徴といたしましては、2つのポイントがございます。1つは、大学院等への進学が14名で、卒業生91名に対して約15%にのぼる点です。一般の文系学生の大学院への進学率は、5%前後ですので、かなり高率であると言えます。さらに深く専門性を追求したい学生が多いのだと思われれます。もう一点は、就職に関しまして、フリーランス・作家活動14名、公立・私立学校教員5名、一般企業40名の実績でございますが、一般企業40名中の約半数は、デザイナー等の専門職として就職しており、専門性を活かした就職ができている事と考えております。デザイン学部の進路の特色といたしましては、就職希望者の内、一

般企業へ約80%の学生が就職し、その内訳のつきましても、デザイナー等のクリエイティブ職65名、専門技術職21名で、就職全体の129名中、実に67%の学生が、専門分野への就職をはたしている事です。

次に本学の大学院の進状況についてご報告をいたします。

本学の大学院には、音楽研究科、人間発達研究科、美術研究科、デザイン研究科の4研究科がございます。平成31年3月の修了生は、音楽研究科が8名、人間発達研究科は1名、美術研究科が8名、デザイン研究科が5名で、就職率につきましては、音楽研究科、人間発達学研究科が就職希望者に対して100%、美術研究科、デザイン研究科が75%でございました。特色といたしましては、専門性を活かした就職、教育関係へ就職が多いことだと言えます。

次に学務部の取り組みについてご説明をいたします。

昨年の11月、中央教育審議会の答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」によると、「人生100年時代」を迎え、ますます少子高齢化が進展しており、日本においては現在の小学校6年生(2007年生まれ)の子ども達の50%が107歳に達するとされています。(出典: Human Mortality Database, University of California, Berkeley and Max Planck Institute for Demographic Research, Germany)2007年生まれの子どもの約109万人ですから、約54万人が107歳に到達するわけです。現在、100歳以上の方は約7万人ですから、驚くべき速度で高齢化が進んでいます。また、2030年頃には第4時産業革命といわれる、IoTやビッグデータ、人工知能(AI)をはじめとする技術革新が一層進展したSociety5.0の到来が予測されており、特別の知識・スキルが求められない職業やデータ分析や体系的にマニュアル化できる職業については、人工知能(AI)やロボットで代替できる可能性が高いと言われております。その反面、芸術・教育のような創造性、他者との協調や他者の理解、説得、サービス志向性が求められる職業は人工知能(AI)等では代替が難しいと言われております。

このような予測不可能な時代を生きるためには、普遍的な知識・理解に加えて汎用的な技能を備えた文理横断の学びが必要であるため、学務部では以下の取り組みを実施・検討しています。

(1)教務学生課の取り組み(2021年度カリキュラム)

- ・キャリア教育を充実させるために、現在の「キャリア1」「キャリア2」に加えて「キャリア3」「キャリア4」を開設し、一層の充実を図ります。
- ・現在、正課外で開設している各種キャリア支援講座を正課のカリキュラムとして開設します。
- ・主専攻、副専攻制度を導入し、ボーダレスな学びを推進します。例えば、主専攻が音楽領域の学生が、副専攻として美術領域の科目を体系的に履修することを可能とし、副専攻の取得者に「履修証明書」を発行することを検討しています。

人工知能やロボット等による代替可能性が高い/低い100種の職業

- 必ずしも特別の知識・スキルが求められない職業に加え、データの分析や秩序的・体系的操作が求められる職業については、人工知能等で代替できる可能性が高い傾向。
- 一方、芸術・歴史学・考古学、哲学・神学など抽象的な概念を整理・創出するための知識が要求される職業、他者との協調や、他者の理解、説得、ネゴシエーション、サービス志向性が求められる職業は、人工知能等での代替は難しい傾向。

代替可能性が高い職業

IC生産オペレーター	ゴム製品成形工(タイヤ成形を除く)	電気通信技術者
一般事務員	こん包工	電算写植オペレーター
鋳物工	サッシ工	電子計算機保守員(IT保守員)
医療事務員	産業廃棄物収集運搬作業員	電子部品製造工
受付係	紙器製造工	電車運転士
AV・通信機器組立・修理工	自動車組立工	道路パトロール隊員
駅務員	自動車塗装工	日用品修理ショップ店員
NC研削盤工	出荷・発送係員	バイク便配達員
NC旋盤工	じんかい収集作業員	発電員
会計監査係員	人事係事務員	非破壊検査員
加工紙製造工	新聞配達員	ビル施設管理技術者
貸付係事務員	診療情報管理士	ビル清掃員
学校事務員	水産わり製品製造工	物品購買事務員
カメラ組立工	スーパー店員	プラスチック製品成形工
機械木工	生産現場事務員	プロセス製版オペレーター
寄宿舎・寮・マンション管理人	製パン工	ホイラーオペレーター
CADオペレーター	製粉工	貿易事務員
給食調理人	製本作業員	包装作業員
教育・研修事務員	清涼飲料ルートセールス員	保管・管理係員
行政事務員(国)	石油精製オペレーター	保険事務員
行政事務員(県市町村)	セメント生産オペレーター	ホテル客室係
銀行窓口係	繊維製品検査工	マシニングセンター・オペレーター
金属加工・金属製品検査工	倉庫作業員	ミシン縫製工
金属研磨工	惣菜製造工	めっき工
金属材料製造検査工	測量士	めん類製造工
金属熱処理工	宝くじ販売人	郵便外務員
金属プレス工	タクシー運転者	郵便事務員
クリーニング取扱店員	宅配便配達員	有料道路料金収受員
計器組立工	鍛造工	レンタカー・営業所員
警備員	駐車場管理人	列車清掃員
経理事務員	通関士	レントカー・営業所員
検収・検品係員	通信販売受付事務員	路線バス運転者
検針員	稼卸作業員	
建設作業員	データ入力係	

代替可能性が低い職業

アートディレクター	歯科医師	日本語教師
アウトドアインストラクター	児童厚生員	ネイル・アーティスト
アナウンサー	シナリオライター	バーテンダー
アロマセラピスト	社会学研究者	俳優
犬訓練士	社会教育主宰	はり師・きゅう師
医療ソーシャルワーカー	社会福祉施設介護職員	美容師
インテリアコーディネーター	社会福祉施設指導員	評論家
インテリアデザイナー	獣医師	ファッションデザイナー
映画カメラマン	柔道整復師	フードコーディネーター
映画監督	ジュエリーデザイナー	舞台演出家
エコノミスト	小学校教員	舞台美術家
音楽教室講師	商業カメラマン	フラワーデザイナー
学芸員	小児科医	フリーライター
学校カウンセラー	商品開発部員	プロデューサー
観光バスガイド	助産師	ベンション経営者
教育カウンセラー	心理学者	保育士
クラシック演奏家	人類学者	放送記者
グラフィックデザイナー	スタイリスト	放送ディレクター
ケアマネージャー	スポーツインストラクター	報道カメラマン
経営コンサルタント	スポーツライター	法務教官
芸能マネージャー	精神科医	マーケティング・リサーチャー
ゲームクリエイター	ソムリエ	マンガ家
外科医	大学・短期大学教員	ミュージシャン
言語聴覚士	工業デザイナー	メイクアップアーティスト
工業デザイナー	中学校教員	盲・ろう・養護学校教員
広告ディレクター	中小企業診断士	幼稚園教員
国際協力専門家	ツアーコンダクター	理学療法士
コピーライター	ディスクジョッキー	料理研究家
作業療法士	ディスプレイデザイナー	旅行会社カウンター係
作曲家	デスク	レコードプロデューサー
作詞家	テレビカメラマン	レストラン支配人
作曲家	テレビタレント	録音エンジニア
雑誌編集者	産業カウンセラー	
産業カウンセラー	産婦人科医	
産婦人科医		

※50音順、並びは代替可能性確率とは無関係
職業名は、労働政策研究・研修機構「職務構造に関する研究」に対応

【出典】2015年12月2日株式会社野村総合研究所News Releaseを元に文部科学省作成

(2) キャリアセンター

(キャリアサポート室)の
取り組み

- ・ 2019年10月から就職支援の取り組みとして、「NUA 高度就業力養成講座(ハイパワー講座)」を開設します。この講座は、コミュニケーションに役立つ話し方、ビジネスマナーの専門家による「美語研修講座」、IT企業の代表取締役社長による「ハイパワー起業講座」、国際ビジネスコンサルタント、特定社会保険労務士による「キャリア支援講座」から構成されており、学生のキャリア形成を強力にサポートします。
- ・ 2019年10月から学習支援の一環として「英語リメディアル講座」を開設し、英語の苦手な学生の学び直しを支援します。



(3) 国際交流センター(国際交流センター事務局)の取り組み

- ・ ワールドディアプロジェクトを活用し、学生の語学力の向上を図ります。また、交流協定を締結している海外の大学との関係を強化し、本学学生が留学しやすい環境を構築します。
- ・ 本学が受け入れる留学生に対応するカリキュラムの構築に加えて、本学学生が海外留学をするためのカリキュラムの構築を検討しています。



以上、学務部の取り組みについてご説明をいたしました。最後に、後援会の皆様からのご支援に対して心から感謝を申し上げます。今後も皆様のご意見をいただきながら、学務部の運営に努めてまいります所存です。ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

学務部長 山田芳樹



■2019年度学生数

2019年5月1日現在 **総学生数 1,977人**

学 部	学 科	1 年			2 年			3 年			4 年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
芸術学部	音楽領域	68	114	182	44	87	131	31	64	95				408
	美術領域	33	75	108	20	56	76	11	61	72				256
	デザイン領域	69	133	202	78	128	206	47	107	154				562
	芸術教養領域	12	19	31	2	11	13	1	3	4				48
	芸術学部小計	182	341	523	144	282	426	90	235	325	0	0	0	1274
音楽学部	演奏学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	27	35	35
	音楽文化創造学科	0	0	0	1	1	2	1	0	1	21	50	71	74
	音楽学部小計	0	0	0	1	1	2	1	0	1	29	77	106	109
美術学部	美術学科	0	0	0	0	2	2	2	3	5	23	53	76	83
デザイン学部	デザイン学科	0	0	0	0	3	3	6	10	16	58	122	180	199
人間発達学部	子ども発達学科	20	46	66	20	45	65	16	57	73	17	51	68	272
学部生合計		202	387	589	165	333	498	115	305	420	127	303	430	1937

研 究 科	1 年			2 年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音楽研究科	4	2	6	0	7	7	13
美術研究科	3	4	7	0	3	3	10
デザイン研究科	6	3	9	2	3	5	14
人間発達学 研究科	1	0	1	0	2	2	3
大学院生合計	14	9	23	2	15	17	40

大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号
学納金(学費)について	庶務会計課	
成績について 証明書発行について 休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	教務学生課	東キャンパス (音楽学部 / 芸術学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課	西キャンパス (美術学部・デザイン学部 / 芸術学部) 0568-24-0325 (代)
教員免許・学芸員資格について 就職について	キャリアセンター(キャリアサポート室)	
交換留学について	国際交流センター(国際交流センター室)	
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)	0568-24-0359 (直通)
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課	東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター	西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)	東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報に含まれる内容に関しては、ご子の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

2019年度 年間行事予定表【音楽学部/音楽領域/芸術教養領域】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	月	入学式
	2	火	オリエンテーション(4/2~4/6)
	8	月	前期授業開始
	11	木	前期履修登録変更期間(4/11~4/12)
	13	土	ファーストイヤーセミナー
	29	月	休校 昭和の日
	30	火	休校 振替休日
5月	1	水	休校 開学記念日
	2	木	休校 臨時休業日
	3	金	休校 憲法記念日
	4	土	休校 みどりの日
	5	日	休校 こどもの日
	6	月	授業日 振替休日
	13	月	履修削除期間(5/13~5/17)
	27	月	教育実習(5/27~6/14)
6月	8	土	ミニオープンキャンパス
	21	金	前期実技試験曲目提出期間(6/21~7/4)
7月	7	日	オープンキャンパス
	8	月	音楽講習会(7/8~8/30)
	15	月	授業日 海の日
	29	月	前期試験期間(7/29~7/31)
8月	1	木	前期実技試験(8/1~8/2)
	12	月	休校 振替休日
	15	木	前期試験成績発表
	17	土	オープンキャンパス
	19	月	教員免許状更新講習(8/19~8/23)
	21	水	前期追再試験期間(8/21~8/23)
	29	木	前期追再試験合格発表
	9月	3	火
9月	8	日	AO入試1期
	11	水	前期卒業判定会議
	16	月	休校 敬老の日
	19	木	後期履修登録
	20	金	後期授業開始
	23	日	授業日 秋分の日
	26	水	後期履修登録変更期間(9/26~9/27)

月	日	曜日	前期行事予定	
10月	14	月	授業日 体育の日	
	19	土	AO入試2期(人間)/ 大学院入試1期(人間)	
	21	月	履修削除期間(10/21~10/25)	
	22	火	休校 即位礼正殿の儀	
11月	1	金	芸大祭(11/1~11/4)	
	2	土	ミニオープンキャンパス	
	4	月	芸大祭片付け 振替休日	
	16	土	一般推薦1期/指定校推薦/社会人1期/ 海外帰国1期/外国人留学生1期/ 3年編入1期	
	22	金	休校 学院創立記念日	
	23	土	勤労感謝の日 超領域入試	
	25	月	後期実技試験曲目提出期間(11/25~12/6)	
12月	14	土	A0入試3期/一般推薦2期(芸教・人間)	
	29	日	冬期一斉休業期間(12/29~1/4)	
1月	13	月	休校 成人の日	
	21	火	後期実技試験期間(1/21~1/23)	
	24	金	後期試験期間(1/24~1/27)	
2月	2	日	大学院入試/大学院入試2期(人間)	
	4	火	一般1期/社会人2期/海外帰国2期/ 外国人留学生2期/3年編入2期/ AO入試4期(人間)	
	5	水	後期試験成績発表	
	8	土	後期追再試験期間(2/8~2/12)	
	11	月	休校 建国記念の日	
	20	木	後期追再試験合格発表	
	24	月	休校 振替休日	
	26	水	卒業判定会議	
	3月	1	日	オープンキャンパス
		2	月	音楽講習会(3/2~3/31)
3		火	一般入試2期	
4		水	進級判定会議	
9		月	研究生考査 4月入学	
19		木	卒業式	
20		金	休校 春分の日	
24		火	一般入試3期/AO入試5期(人間)	
26	木	新年度オリエンテーション予定 (3/26~3/28)		

2019年度 年間行事予定表【美術学部/美術領域/デザイン学部/デザイン領域】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	月	入学式
	2	火	オリエンテーション(4/2~4/6)
	8	月	前期授業開始 前期履修登録変更期間(4/8~4/15)
	13	土	ファーストイヤーセミナー
	29	月	休校 昭和の日
	30	火	休校 国民の休日
5月	1	水	休校 開学記念日
	2	木	休校 国民の休日
	3	金	休校 憲法記念日
	4	土	休校 みどりの日
	5	日	休校 こどもの日
	6	月	授業日 振替休日
	13	月	前期履修削除期間(5/13~5/17)
	19	日	後援会総会・教育懇談会
6月	8	土	ミニオープンキャンパス
7月	7	日	オープンキャンパス
	15	月	授業日 海の日
	20	土	AO入試第1回体験授業
	27	土	AO入試第2回体験授業
	28	日	一日芸大生
	29	月	前期試験期間(7/29~7/31)
	8月	12	月
15		木	前期試験成績発表
17		土	オープンキャンパス
19		月	教員免許状更新講習(8/19~8/23)
21		水	前期追再試験期間(8/21~8/23)
29		木	前期追再試験合否発表
9月		3	火
	8	日	AO入試1期
	11	水	前期卒業判定会議
	16	月	休校 敬老の日
	18	水	後期オリエンテーション
	19	木	後期履修登録
	20	金	後期授業開始 後期履修登録変更期間(9/20~9/27)
	23	月	授業日 秋分の日
	25	水	前期卒業式

月	日	曜日	前期行事予定
10月	14	月	授業日 体育の日
	19	土	AO入試2期
	21	月	後期履修削除期間(10/21~10/25)
	22	火	休校 即位礼正殿の儀
11月	1	金	芸大祭(11/1~11/3)
	2	土	ミニオープンキャンパス
	4	月	芸大祭後片付け 振替休日
	16	土	一般推薦1期/指定校推薦/社会人1期/ 海外帰国1期/外国人留学生1期/ 3年編入1期
	22	金	休校 学院創立記念日
12月	23	土	勤労感謝の日 超領域入試
	14	土	AO入試3期
1月	29	日	冬期一斉休業期間(12/29~1/4)
	13	月	休校 成人の日
2月	24	金	後期試験期間(1/24~1/27)
	2	日	大学院入試、研修生考査
3月	4	火	一般1期/社会人2期/海外帰国2期/ 外国人留学生2期/3年編入2期
	5	水	後期試験成績発表
	8	土	後期追再試験(2/8~2/12)
	11	火	休校 建国記念の日
	20	木	後期追再試験合否発表
	24	月	休校 振替休日
	26	水	卒業判定会議
	1	日	オープンキャンパス
	3	火	一般入試2期
	4	水	進級判定会議
9	月	研究生考査(4月入学)	
4月	19	木	卒業式
	20	金	休校 春分の日
	24	火	一般入試3期
	26	木	新年度在学生オリエンテーション予定 (3/26~3/28)

2019年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	月	入学式
	2	火	オリエンテーション(4/2~4/6)
	8	月	前期授業開始
	11	木	前期履修登録変更期間(4/11~4/12)
	13	土	ファーストイヤーセミナー
	29	月	休校 昭和の日
	30	火	休校 振替休日
5月	1	水	休校 開学記念日
	2	木	休校 臨時休業日
	3	金	休校 憲法記念日
	4	土	休校 みどりの日
	5	日	休校 こどもの日
	6	月	授業日 振替休日
	13	月	履修削除期間(5/13~5/17)
	18	土	文化創造セミナー
6月	8	土	ミニオープンキャンパス
7月	7	日	オープンキャンパス
	15	月	授業日 海の日
	29	月	前期試験期間(7/29~7/31)
8月	12	月	休校 振替休日
	15	木	前期試験成績発表
	17	土	オープンキャンパス
	19	月	教員免許状更新講習(8/19~8/23)
	21	水	前期追再試験期間(8/21~8/23)
	29	木	前期追再試験合格発表
9月	3	火	研究生考査 9月入学
	5	木	オリエンテーション(9/5~9/6)
	8	日	AO入試1期
	9	月	3年生補講(9/9~9/13)
	11	水	前期卒業判定会議
	16	月	休校 敬老の日
	20	金	後期授業開始
	23	日	授業日 秋分の日
	26	水	後期履修登録変更期間(9/26~9/27)
	30	月	教育実習 (幼:9/30~10/21、小:9/30~10/18)

月	日	曜日	前期行事予定
10月	14	月	授業日 体育の日
	19	土	AO入試2期(人間)/ 大学院入試1期(人間)
	21	月	履修削除期間(10/21~10/25)
	22	火	休校 即位礼正殿の儀
11月	1	金	芸大祭(11/1~11/4)
	2	土	ミニオープンキャンパス
	4	月	芸大祭片付け 振替休日
	16	土	一般推薦1期/指定校推薦/社会人1期/ 海外帰国1期/外国人留学生1期/ 3年編入1期
12月	22	金	休校 学院創立記念日
	23	土	勤労感謝の日 超領域入試
	14	土	AO入試3期/ 一般推薦2期(芸教・人間)
1月	29	日	冬期一斉休業期間(12/29~1/4)
	13	月	休校 成人の日
	15	水	3年生補講 (1/15~1/16、1/21~1/23、1/28、1/31)
2月	24	金	後期試験期間(1/24~1/27)
	2	日	大学院入試/大学院入試2期(人間)
	4	火	一般1期/社会人2期/海外帰国2期/ 外国人留学生2期/3年編入2期/ AO入試4期(人間)
	5	水	後期試験成績発表
	8	土	後期追再試験期間(2/8~2/12)
	10	月	保育所実習Ⅰ・Ⅱ・地域活動 (2/10~2/22)
	11	月	休校 建国記念の日
	20	木	後期追再試験合格発表
	24	月	休校 振替休日
	26	水	卒業判定会議
	3月	1	日
3		火	一般入試2期
4		水	進級判定会議
9		月	研究生考査 4月入学
19		木	卒業式
20		金	休校 春分の日
24		火	一般入試3期/AO入試5期(人間)
26	木	新年度オリエンテーション予定 (3/26~3/28)	

就 職 セ ミ ナ ー の 紹 介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。

※キャリアサポート室では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

2019年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

《音楽学部 / 芸術学部 / 音楽領域 / 芸術教養領域》

月	学年	講 座 内 容
3	3年生	進路選択前のキャリアプラン(就職するとは)
	4年生	就職ガイダンス
4	3・4年生	教員採用試験 / 公務員試験(行政職)全体説明会について
	4年生	愛知県教員採用試験学内説明会 名古屋市教員採用試験学内説明会
5	3年生	スタートアップガイダンス(就職活動の基本事項の確認) インターンシップガイダンス(インターンシップの流れについて)
	4年生	就職なんでも相談会 ※1 学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
6	3年生	自己分析・適性検査 (当日実施) 就活サイトを活用した企業研究 インターンシップガイダンス(自己PR作成)
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
7	3年生	自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方 カワイ音楽教室システム講師、カワイ楽器専門コース担当講師学内説明会 ※1 夏期休業期間中の準備活動について
	4年生	カワイ音楽教室システム講師、カワイ楽器専門コース担当講師学内説明会 ※2 学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	1～4年生	業界セミナー① 自衛隊音楽隊・警察音楽隊
9	3年生	後期オリエンテーション(適性検査MAT Ch plus受験会)
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認・履歴書・エントリーシート) 働くためのコミュニケーション能力を身につける就活セミナー 自己分析・履歴書・エントリーシート対策 面接等マナー講座(あいさつ、電話のかけ方、お礼状等)
	4年生	講師登録説明会 学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
11	3年生	履歴書・エントリーシート対策 就職採用試験【筆記試験・一般常識・適性検査等】対策 面接対策ガイダンス(個人面接) 就職採用試験【筆記試験・SPI】対策
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
12	3年生	就職活動および働く上での基礎知識(会社組織とビジネス社会) これだけは必要! 面接完全対策 グループディスカッション体験講座
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
1	3年生	希望別就職活動ガイダンス(企業希望者) 希望別就職活動ガイダンス(公務員【行政職等】・教員希望者)

《美術領域・デザイン領域》

月	学年	講座内容
3・4	全学年	就職活動オリエンテーション
4	3年生	スタートアップ講座
		ポートフォリオ対策①
	4年生	自己分析・自己発見のための職務適性検査の実施
		教員採用試験/公務員試験(行政職)全体説明会
5	インターンシップ 2・3年希望者	愛知県教員採用試験学内説明会
		名古屋市教員採用試験学内説明会
		職務適性検査結果の解説 自己分析ガイダンス
		インターンシップ講座[導入]
6	2・3年生	夏季 インターンシップ<ガイダンス授業 インターンシップの流れ等>
		夏季 インターンシップ<ガイダンス授業 業種・職種・企業研究等>
	3年生	夏季 インターンシップ参加申込受付
		教員・公務員になるためには
7	2・3年生	採用試験対策「WEB模擬テスト」受験会(申込制 定員30名)
		インターンシップ講座[実践]
	3年生	業界研究
		ワークルールの基礎知識
8・9	2・3年生	求人フェア
		ワークルールの基礎知識
	3年生	4年生による就職活動体験パネルディスカッション
		ポートフォリオ対策②
4年生	ビジネスマナー講座	
	留学生	ハローワーク説明会就職活動リスタート講座・求人フェア
9	インターンシップ2・3年希望者	日本で就職するためには
		夏季 インターンシップ<ガイダンス授業 ビジネスマナー講習(事前研修)>
10	2年生	夏季 インターンシップ2・3年希望者
		夏季 インターンシップ2・3年希望者
	3年生	進路選択に向けて
		後期スタートアップ
4年生	求人フェア	
	2年生	自己分析・自己発見のための職務適性検査の実施
11	2年生	職務適性検査結果の解説 自己分析ガイダンス
		筆記試験対策 模擬テスト受験会
	3年生	デザイン業界研究
		求人フェア
12	2年生	業界研究
		採用試験対策「WEB模擬テスト」受験会(申込制 定員30名)
	3年生	広告・WEB・マスコミ業界研究
		キャリア&マネープラン卒業後の仕事とお金に関する知識
1	2年生	求人フェア
		キャリア&マネープラン 卒業後の仕事とお金に関する知識
	3年生	春季 インターンシップ<ガイダンス授業 インターンシップの流れ等>
		春季 インターンシップ<ガイダンス授業 業種・職種・企業研究等>
2	2・3・4年生	春季 インターンシップ参加申込受付
		スーツの着こなし
	3年生	ポートフォリオ対策③
		自己PR作成 履歴書・エントリーシートの書き方
3	2年生	求人フェア
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策①)
	3年生	採用試験対策「WEB模擬テスト」受験会(申込制 定員30名)
		グループディスカッション対策
4	2年生	進学(大学院・研究生)について
		ポートフォリオ個別アドバイス会
	3年生	ビジネスマナー講座
		面接対策
5	2年生	直前対策① 就職情報サイトの利用法・求人検索システムの使い方
		ハローワーク登録・求人フェア
	3年生	春季 インターンシップ<ガイダンス授業 ビジネスマナー講習(事前研修)>
		エンタリーシート・履歴書添削 《キャリアサポート室で随時実施》
6	2年生	採用試験対策「WEB模擬テスト」受験会(申込制 定員30名)
		直前対策② 就活準備振り返り・合説のまわり方
	3年生	求人フェア
		求人フェア
2・3	インターンシップ2・3年希望者	春季 インターンシップ2・3年希望者

※5～3月/全学年対象 就職支援・資格取得講座の実施 不定期/学内企業説明会実施

《人間発達学部》

月	学年	講 座 内 容
3	3年生	進路選択前のキャリアプラン(就職するとは)
	4年生	就職ガイダンス 教員による進路別 面接対策
4	3年生	教員採用試験/公務員試験(行政職・保育職)全体説明会について
	4年生	教員採用試験/公務員試験(行政職・保育職)全体説明会について 愛知県教員採用試験学内説明会 名古屋市教員採用試験学内説明会
5	3年生	スタートアップ ガイダンス(就職活動の基本事項の確認) インターンシップガイダンス(インターンシップの流れについて)
	4年生	就職なんでも相談会 完全予約制(1名15分) ※1 幼稚園・保育所への就職活動について 学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
6	3年生	自己分析・適性検査 愛知県私立幼稚園教員採用説明会(PＲキャラバン隊) リクナビを活用した企業研究 インターンシップガイダンス(自己PR作成)
	4年生	愛知県私立幼稚園教員採用説明会(PＲキャラバン隊) 学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
7	3年生	自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方 夏期休業期間中の準備活動について
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
9	3年生	後期オリエンテーション(適性検査MAT Ch plus 受験会)
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認・履歴書・エントリーシート) 働くためのコミュニケーション能力を身につける就活セミナー 自己分析・履歴書・エントリーシート対策 面接等マナー講座(あいさつ、電話のかけ方、お礼状等)
	4年生	講師登録説明会 学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
11	3年生	履歴書・エントリーシート対策 就職採用試験【筆記試験・一般常識・適性検査等】対策 面接対策ガイダンス(個人面接) 就職採用試験【筆記試験・SPI】対策
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
12	3年生	就職活動および働く上での基礎知識(会社組織とビジネス社会) これだけは必要! 面接完全対策 グループディスカッション体験講座
	4年生	学内 一般企業求人紹介・説明会(個別対応)
	全学年	作文添削
1	3年生	希望別就職活動ガイダンス(企業希望者) 希望別就職活動ガイダンス(公務員【保育職・行政職等】・教員希望者)

■平成30年度進路状況

音楽学部

令和元年5月1日現在

		演奏		音楽創造		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
就職関係	公立学校教員	1	7	0	3	1	10	11	
	私立学校教員	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の教育機関(海外等)	0	0	0	1	0	1	1	
小計		1	7	0	4	1	11	12	
福祉関係	福祉施設等(音楽療法士含む)	0	3	0	1	0	4	4	
	小計	0	3	0	1	0	4	4	
就	音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	0	1	0	0	0	1	1
		楽器店講師	0	2	1	0	1	2	3
		自宅教室(ピアノ)	0	0	0	0	0	0	0
		自宅教室(他)	0	0	0	0	0	0	0
		幼稚園・保育所	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	3	1	0	1	3	4	
職	音楽家	奏者(フリー)	0	0	5	1	5	1	6
		ミュージカル・アーティスト	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	5	1	5	1	6
一般企業		2	10	9	17	11	27	38	
各種団体等		0	0	0	0	0	0	0	
小計		2	10	9	17	11	27	38	
公務員	行政職	行政職	0	1	0	0	0	1	1
		その他	1	0	0	0	1	0	1
		小計	1	1	0	0	1	1	2
合計		4	24	15	23	19	47	66	
進学	大学院	2	1	0	0	2	1	3	
	研究生	0	8	0	0	0	8	8	
	海外(留学)	1	1	3	0	4	1	5	
	その他(大学・専門等)	0	0	0	1	0	1	1	
合計		3	10	3	1	6	11	17	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	結婚・家事等	0	1	0	1	0	2	2
		その他(未定/不詳/アルバイト等)	0	0	2	6	2	6	8
合計		0	1	2	7	2	8	10	
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	0	0	3	0	3	3	
合計		0	0	0	3	0	3	3	
総合計		7	35	20	34	27	69	96	

卒業生数	7	35	20	34	27	69	96
就職・進学希望者数	7	34	18	27	25	61	86
就職・進学者数	7	34	18	24	25	58	83
就職・進学率	100%	100%	100%	88.9%	100%	95.1%	96.5%
	100%	93.3%	96.5%				

美術学部・デザイン学部

令和元年5月1日現在

		美術学部美術学科		デザイン学部デザイン学科		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
就職関係	公立学校教員(常勤・非常勤講師含)	0	3	0	0	0	3	3	
	私立学校教員(常勤・非常勤講師含)	2	0	0	0	2	0	2	
	小計	2	3	0	0	2	3	5	
フリーランス・作家活動		5	9	9	4	14	13	27	
小計		5	9	9	4	14	13	27	
就	クリエイティブ職(デザイナー職等)	クリエイティブ職(デザイナー職等)	0	6	19	46	19	52	71
		専門技術職(機械設計職等)	0	2	8	13	8	15	23
		総合職	0	2	0	5	0	7	7
		販売職	2	10	1	9	3	19	22
		営業職	0	3	1	3	1	6	7
		事務職	0	5	1	2	1	7	8
		その他	5	5	1	4	6	9	15
小計		7	33	31	82	38	115	153	
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	
合計		14	45	40	86	54	131	185	
進学	大学院	2	7	1	0	3	7	10	
	研究生	1	2	0	1	1	3	4	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(大学・専門)	1	1	0	1	1	2	3	
合計		4	10	1	2	5	12	17	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	結婚・家事等	0	0	0	1	0	1	1
		その他	5	4	1	5	6	9	15
合計		5	4	1	6	6	10	16	
活動中(調査中)	講師登録・その他	4	5	14	15	18	20	38	
合計		4	5	14	15	18	20	38	
総合計		27	64	56	109	83	173	256	

卒業生数(9月卒業含む)	27	64	56	109	83	173	256
就職・進学希望者数	22	60	55	103	77	163	240
就職・進学者数	18	55	41	88	59	143	202
就職・進学率	81.8%	91.7%	74.5%	85.4%	76.6%	87.7%	84.2%

人間発達学部

令和元年5月1日現在

		子ども発達学科		総計	
		男	女		
就職関係	公立学校教員	1	5	6	
	公立幼稚園教員	0	0	0	
	私立幼稚園教員	2	8	10	
	その他の教育機関	0	1	1	
小計		3	14	17	
認定こども園		0	3	3	
小計		0	3	3	
福祉関係	公立保育所	1	8	9	
	私立保育所	7	17	24	
	福祉施設(保育士等)	5	3	8	
	学童保育所(クラブ)	0	0	0	
小計		13	28	41	
一般企業		2	15	17	
各種団体等・その他		0	0	0	
小計		2	15	17	
公務員	その他	0	0	0	
小計		0	0	0	
合計		18	60	78	
進学	大学院	1	0	1	
	研究生	0	0	0	
	海外(留学)	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	1	2	3	
合計		2	2	4	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	結婚・家事等	0	0	0
		その他(未定/不詳/アルバイト等)	1	6	7
合計		1	6	7	
就職活動継続中	講師登録・その他	0	0	0	
合計		0	0	0	
総合計		21	68	89	

卒業生数(9月卒業含む)	21	68	89
就職・進学希望者数	20	62	82
就職・進学者数	20	62	82
就職・進学率	100.0%	100.0%	100.0%

CONCERT GUIDE

2019年度 名古屋芸術大学 演奏会案内

9 September

トリエンナーレ ミュージカル ジャパネスクワンダーランド

日 時/2019年9月29日(日) 開演時間未定
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入 場 料/一般2000円・高校生以下1500円(全自由席)
チケットお取り扱い
イープラス:インターネット予約(要事前登録)

10 October

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団 第2回定期演奏会「音楽の森」

日 時/2019年10月20日(日) 開演時間未定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス音楽講堂
入 場 料/無料(全自由席)

ウィンドオーケストラ第38回定期演奏会

日 時/2019年10月24日(木) 18:30開演予定
会 場/三井住友海上 しらかわホール
入 場 料/一般500円・大学生以下無料(全自由席)
チケットお取り扱い
しらかわホール
愛知芸術文化センタープレイガイド

11 November

第42回定期演奏会

日 時/2019年11月14日(木) 18:00開演予定
会 場/三井住友海上しらかわホール
入 場 料/無料(全自由席 整理券あり)

12 December

Earth Echo 電子オルガン第22回定期演奏会

日 時/2019年12月5日(木) 18:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入 場 料/無料(全自由席)

室内楽のタベ 2019

日 時/2019年12月10日(火) 17:30開演予定
会 場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入 場 料/無料(全自由席)

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団 第3回定期演奏会「第九」

日 時/2019年12月19日(木) 18:30開演予定
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入 場 料/一般500円・大学生以下無料(全自由席)
チケットお取り扱い
愛知芸術文化センタープレイガイド

1 January

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団 第4回定期演奏会(仮称)

日 時/2020年1月31日(金) 18:30開演予定
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入 場 料/一般500円・大学生以下無料(全自由席)

2 February

第18回 歌曲のタベ

日 時/2020年2月7日(金) 18:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入 場 料/無料(全自由席)

研究生修了演奏会

日 時/2020年2月13日(木) 18:00開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入 場 料/無料(全自由席)

Kaleidoscope2020

日 時/2020年2月15日(土) 16:00開演
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス2号館 3F
入 場 料/無料(全自由席)

ミュージカル公演 フェアリーテールズ(予定)

日 時/2020年2月19日(水) 18:00開演予定
会 場/名古屋市芸術創造センター
入 場 料/500円(全自由席) 予定

大学院音楽研究科特別演奏会

日 時/2020年2月20日(木) 18:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス音楽講堂
入 場 料/無料(全自由席)

ピアノのしらべ 第24回 春のコンサート

日 時/2020年2月27日(木) 17:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入 場 料/無料(全自由席)

3 March

第47回卒業演奏会

日 時/2020年3月6日(金) 17:00開演予定
会 場/三井住友海上しらかわホール
入 場 料/無料(全自由席 整理券あり)

ジャズポップス卒業演奏会

日 時/2020年3月7日(土) 15:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス音楽講堂
入 場 料/無料(全自由席)

第22回大学院音楽研究科修了演奏会

日 時/2020年3月10日(火) 18:00開演予定
会 場/三井住友海上しらかわホール
入 場 料/無料(全自由席 整理券あり)

オペラ公演 歌劇「フィガロの結婚」

日 時/2020年3月14日(土) 開演時間未定
会 場/西文化小劇場
入 場 料/入場料未定

日 時/2020年3月15日(日) 開演時間未定
会 場/西文化小劇場
入 場 料/入場料未定

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。

【お問い合わせ】 名古屋芸術大学 演奏課 ■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281 ■Tel 0568-24-5141

先輩の活躍



名芸で学んだ4年間を武器に

2018年度 音楽学部
エンターテインメントディレクションコース 卒業
柳川瑛美奈

名古屋芸術大学を卒業して半年が過ぎました。

私は今東京にある舞台制作会社の舞台監督部署で働いています。

高校生の頃から憧れ続けていたエンターテインメントの世界で舞台監督になるために日々、先輩方の姿を見て勉強しながらお仕事をしています。

3月まで学生だったのに4月に入社し一週間後から一人のプロとして仕事をしなければならぬという決して甘くない世界・・・それでもそんな社会人1ヶ月目を乗り越えることができたのはこの名古屋芸術大学で学んだ4年間があったからだと思います。

エンタメコースの一期生として私はこの大学に入学しました。

それまで音楽や芸術とはほぼ無縁の日々を過ごしていたので、恥ずかしながら周りのみんなが何を言っているのか、あまり分からなかった記憶がありますがそんな中、

恩師である森泉博行先生はそんな私にたくさんの機会を与えてくださいました。

あいちトリエンナーレ、飛騨童話会議、ミュージカルコース定期公演・・・など在学习中より多くの現場にスタッフとして参加させてもらったことで、出演者、バンド、他のスタッフなどとのスタッフとしての関わり方学ぶことができそのことが今の仕事にとっても活かされています。

私がやっている仕事はちょっと特殊でずっと同じ人たちと仕事をするわけではありません。一つの作品が終われば仕事の相手も変わります。人が変われば仕事のやり方も何もかも変わります。人によって正解が違うのでそれに合わせるのはとても大変で、困惑することも多々ありますが、さまざまなやり方を学ぶことができ、たくさん技術を吸収できる環境にすることが今後の自分の糧になると信じています。

今はまだ半人前で何もできない自分に不甲斐なさを感じる日々ですが、名芸で4年間学んだ事を武器に近い将来誰もが知っている舞台の舞台監督になれるよう日々成長していきたいと思います。

こんな私を育ててくれた皆さまに恩返しができるよう精進してまいります。

(株式会社ザ・サムシングエルス 勤務)

努力と感謝

2017年度 人間発達学部 卒業
谷中優樹

私は現在、愛知県公立教員として勤務をしています。名古屋芸術大学を卒業して二年が経ちます。大学4年生での教員採用試験には、合格することができませんでしたが、どうしても教員になる夢を諦めきれず、一年間講師として勤務をしながら教員採用試験に向けて準備をする選択をしました。社会人一年目と、教員採用試験に向けての勉強の並行は、簡単な事ではなく、本当に苦労しました。講師という立場でしたが、はじめて担任もった子どもたちは特別なもので、毎日子どもたちの笑顔を勉強のモチベーションに変え、昨年無事に合格することができました。

今こうして合格ができた自分があるのは、大学時代の友人や大学の先生方の支えがあってこそだと考えています。友人とは、教員採用試験に向けての勉強をしました。一人では、挫けそうなきも共に鼓舞し合いました。仲

間であり、ライバルとして目の前で勉強をしている友人がいるため、勉強には気合いが入りました。

大学を卒業後の現在も、連絡を取り合い情報交換をしながらお互いを高め合っています。大学の先生方には、卒業後も声をかけていただきアドバイスをいただいたり、試験の前日に不安になって連絡をすると出張先からわざわざ出向いていただき、面接の練習をしていただいたりと、先生方には感謝しかありません。

合格発表の日は、最初に連絡を入れました。合格することが大学の先生方への恩返しだと考えていましたが、今はそう考えていません。大学の先生方にいただいた恩を、未来の子どもたちに還元していくことが私なりの恩返しだと思っています。

私は教員になるという夢は叶えることができました。しかし、ここがゴールではありません。新学習指導要領が始まり、プログラミング教育や外国語教育など時代に沿って、教えていかなければならないものは変わっていきます。日々精進し、未来の日本を担っていく子どもたちをこれからも育てていきます。

(愛知県公立小学校 勤務)



謙虚な気持ちを 忘れないということ

2018年度 デザイン学部 デザイン学科 卒業
鈴木凌果

私は現在、販促支援を行うコンテンツ創造企業で制作部デザイナーとして働いています。主にパンフレット・ポスター・チラシ・カタログなどの紙媒体のデザインを担当し、毎日macと向き合いながら顧客の期待に応えられるよう勉強しています。

大学ではメディアコミュニケーションデザインコースで多くの課題をこなし、技術やセンスなど多くのことを経験しながら知識を深めました。

小さい頃の話すれば、私は最初からデザイナーになりたいと思っていたわけではなく、どちらかという大学に入学してからデザインを学び、知っていくうちに徐々にデザイナーを目指していったタイプでした。遊びに大学へ通っていたわけではありませんが、入学した当初は人生最後の楽しくて自由な学生期間だからと、学生ブランドを生かして色んな所へ行く／やりたいことはとことんやる精神でずっと行きたかった留学へ行ったり、得た

技術で自分を表現するために展示を行ったりと悔いのない学生生活を過ごしていました。

そして自分の中で自分という存在が段々と大きくなっていきました。

私は沢山の経験や学んだ技術で自信を持ち、「自分は他人と違う」、「頑張れば絶対できる」と心のどこかで常にも思っていました、それがへし折られたきっかけが就活でした。結論から言うと、第一志望の会社は落ちました。ギリギリのところまで最後ダメだったことが本当に悔しかったことを今でも覚えています。

そして今、現在の会社に入社して気づいたことは、謙虚な気持ちでいることが人としてとても大切だということです。急に話が飛んだように見えますが、これまでの私は「スーパーのチラシなんて」とか「有名な会社に行って大きな広告を作りたい」などばかり漠然と思っていました。しかし社会人になり、誇りを持ってスーパーのチラシを作っている先輩の話ややりがいを聞いて、私自身考え方が大きく変わりました。カッコいいと感じました。

自分に自信があるのは悪いこととは思いませんが、今ではどんなお仕事も差別なく、前向きに、謙虚な気持ちで日々頑張りたいと思えるようになりました。

(広告・印刷関連会社 勤務)

社会人として生きる

2018年度 美術学部 美術学科 卒業
尾関恵美

大学に入ってから、絵を描くのが嫌になりました。こんなことを言っている美大生は結構な割合にいると思うのですが、わたしはそれから立ち直れなくて、無意味に4年間をダラダラと過ごしました。そうしたら、周りとの間に大きな差ができていくのに気がきました。人と気軽に話したり、自分の頭でモノを考えたり、自分の意見を言えたり、そういうことが他の人よりできないことが大きなコンプレックスになっていました。

だから、どうせ本気で絵を描き続けることができないなら、まともな社会人として生きようと思いました。奨学金を返していかないといけないのも理由の1つでした。喫茶店のアルバイトを続けていたので接客はできましたし、色々な人を見たかったので、ホテルの仕事に就きました。

仕事は毎日辛いです。慣れてないことだらけで気を張

るし、忙しくて絵を描く暇なんてまるでありません。コミュニケーションをとることに慣れていないので、職場の人と話す度にストレスが溜まります。思い悩んで涙が出たりします。

でもわたしはそれでいいと思っています。甘えて社会に適応できない人間のままでいたくなかったから、都合がいいです。半年たって、少しは慣れてきて、やりがいを感ぜられるようにもなりました。いつか自分のコンプレックスが解消できると信じて、辞めずに働いています。解消できたら、また絵を描きたくなるかもしれません。そうしたらその時考えます。

奨学金を借りてまで大学で絵を描いて、全く違う職に就くなんて、馬鹿げているかもしれませんが、わたしは後悔していません。やりたいことを飽きるまでやっただけです。遊んだあとの片付けみたいなものです。わたしのこの記事を読んで、情けないと思う人は馬鹿にしてください。でも、今悩んでいる人は、こんな人もいるのだと思って、自分はもちろんと絵で本気になろうとか、別の道に進もうとか、これからの参考にしてください。

(全国展開ホテルチェーン 勤務)

親の想い

「大学生活を送る」という事

人間発達学部 3年 母 佐藤実奈子

娘が名古屋芸術大学に入学して3年目となりました。学業に実習、サークル活動、シッターのアルバイト、毎日忙しく慌ただしい日々を送っています。

大学祭などで娘の所属している和太鼓サークルの演舞を観ていると、とても澁刺としていてこの大学生活が充実している事が伝わってきます。私自身大学生活の経験が無いので、この充実した時間を過ごしているのを羨ましく思いながら見守る毎日です。

娘は、上と下にそれぞれ歳の離れた兄弟がいる中間子の女の子になるので、しっかり手を掛けていたわけではなく、進路も自分で見つけて決めていました。その選択がとても娘自身に合ったものだったのだと確信でき、親として娘の成長を頼もしく思います。いよいよこれから、就職活動、卒業と進めていく事になりますが、本人の意志を尊重し見守っていこうと思っています。

社会に出れば辛い事や苦しい事がいろいろとあるとは思いますが、自分自身で問題を解決して乗り越えていってくれると信じています。

私は、娘の幼稚園時代から各時代のPTA等の役員を受けて参りました。今回も後援会の役員として参加させて頂いています。



大学の学長はじめ、教員、職員の方々が生徒ひとりひとりをきめ細かく指導して下さっている事が伺えてとても安心しました。後援会でのサークル活動にも参加させて頂き、いろいろなご縁に恵まれとても楽しく過ごさせて頂いています。この大学に娘が通ってくれた事が、これ程私の人生に潤いを与えてくれるとは夢にも思いませんでした。人間発達学部なので芸術大学本来の音楽や美術とは離れていますが、同じ大学内なので、そういった部門にも触れる事の出来る素晴らしい環境に感謝して、残りの学生生活を娘と一緒に大切に過ごしていこうと思います。

娘がこれから先の人生を歩んでいくのにおいて、必ずこの大学生活の日々が心の柱となってくれるでしょう。

いつしか立場が逆になり、私が叱られる日が来る事を楽しみに待ちたいと思います。

新しい夢に応援

人間発達学部 4年 母 田代章子

小さい幼児期の頃からピアノを演奏することや物作り、絵を描く事が大好きな子でした。中学の職場体験を終えた頃から幼稚園の先生を意識しながらも、もの作りも諦められず高校三年になってからデッサンの勉強に通うようになっていました。娘から「保育園、幼稚園、小学校の教諭免許が取得できるだけでなく、音楽学部と芸術学部があるため実技の面も専門的に学ぶことが出来る名古屋芸術大学を受験したい。」という話を聞き、娘らしいなと思う反面、何かあっても鹿児島から直ぐに行ける距離でないことに不安でございました。大学に入学した早速、必修科目のピアノの授業を良い環境で奏で学べる事に喜び、三年生では、「子ども芸術コース」を選択し念願であった物作りを学び充実した生活を過ごしておりました。

全てが順調に進んでいる矢先の事でもございました。目標の教員採用試験に向けて眠る時間も削り学習面と

生活面全てを弱音も吐かず一人で乗り越える中、精神的に辛い期間があったのでしょうか。採用試験一ヶ月前には、部屋からできる事すらできない状態。それでも採用試験を受験し一次合格。二次試験は、当日朝まで迷い受験できなかったと連絡をくれた娘。あれから一ヶ月が過ぎようとしております。先日、娘から「気持ちを切り替えて就職活動と卒業作成頑張るね。」と連絡を貰い、娘が愛おしく、たくましく感じることでした。

これも、ゼミの先生が、娘の精神状態をご理解くださり親身になって声を掛けて下さった事で安定していったように感じております。感謝の気持ちで一杯でございます。

また私自身も、今年の後援会の総会で会長様とお話する機会があり後援会に入会させて頂けたことで、皆様の温かいお言葉やお心遣いに心が癒され娘の気持ちに笑顔で寄り添い過ごすことができました。まだ入会して二ヶ月でございますが、入って良かったと思うことです。娘の大学生活は残り半年です。焦らず自分を信じて新しい夢に向かって、これまで以上に努力を重ねて欲しいと思います。親として見守ることしかできませんが応援しております。

子の想い

「自由に」が楽しい

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
2年 民田詩乃

昨年の春、名古屋芸術大学の入学式に向けて私はとても悩んでいました。

「どのスーツで行けば目立たないだろう、他の子はどんな格好で出席するだろう」

母や友人に聞いてまわり、できるだけ自分だけがとび出た格好にならないようにしなくては、と。

中学生の時も高校生の時も、ルールを守る、と言うよりは先生や周りの子から変に思われてしまうのを恐れて、必要以上に校則に従っていた私でしたが、いざ「自由に」と言われてしまうとどうすればいいのか分からなくなってしまっ、とにかく周りに合わせなければと自分のまる型を探して必死になっていました。

しかし、この名古屋芸術大学に入学してからというもの、「自由に」にあまり困らなくなったように感じます。

色とりどりの入学式に始まり、服装が、という意味だけ

でなく、授業や課題に取り組む際の自分の考えそのものに対してです。

「こんな考えはきっと笑われてしまう」

「私のこのアイデアもくだらないと思われてしまうかもしれない」

そんな引つ込み思案な考え方がどこかへ行ってしまっほど、この大学の空気は私の「自由に考えること」を後押ししてくれます。一人一人が自分の好きを真っ直ぐぶつけ合うこの環境は、お互いの好きに磨きがかかってより一層キラキラして見えます。

「そんな考え方があったのか」

「それに負けなくらい素敵なものを作りたい」

今ではどんどんやりたいこと、作りたいものが湧いてきて「自由に」が楽しくてたまりません。

この楽しさに出会わせてくれた両親、先生方、これまでにお世話になった方々、同学の皆さんに感謝の思いでいっぱいです。

こちらからも頑張っていきたいです。

「言葉」に関する様々な創作を体験できる

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
文芸・ライティングコース
1年 江上陽菜

人に何かを伝えようとする時、人間は言葉を選ぶ。何かを言うこと、書くことは意思疎通をする上で欠かせない行いであり、相応の力を持った行為である。心無い物言いが誰かを傷付けることもあれば、何気ない言葉が誰かを元気づけることもある。だからこそ扱いが難しく、それでもなくてはならないものが言葉であると私は考えている。

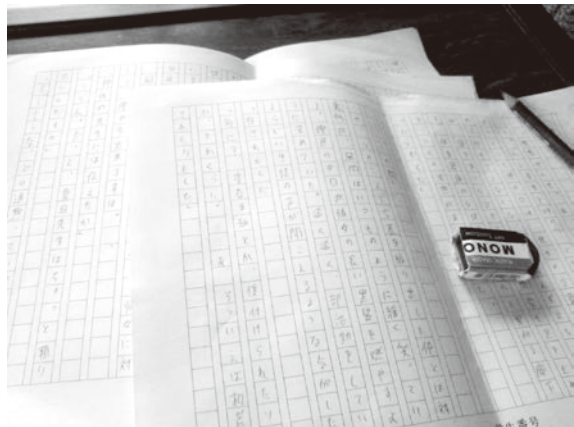
そんな言葉を扱い、文章表現を芸術・デザインとして学ぶのが私の所属する文芸・ライティングコースだ。小説、絵本原作、キャッチコピーといった「言葉」に関する様々な創作を体験し、自身の可能性を広げることができる。

文学部や外国語学部は他大学にも数あれども、執筆や創作を中心に学ぶことのできる学部は少ない。文章表現に興味があった私は、受験の際迷わずこのコースを選んだ。

私はまだ、この大学に入学したばかりだが、すでに多

くの実りある学び、経験をさせて頂いている。これからの学生生活を通し、より成長していきたいと考えている。

いつか自分の言葉で誰かを感動させたい、そして見知らぬ人の人生を少しでも良い方向に変える力になりたい。それが私の今の目標だ。この大学での生活や学び、他コースとの交流を糧にして、より魅力的な言葉を生み出せるように、これからも努力を続けてゆくつもりだ。



クラブ・同好会紹介 (東キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	Jampa Swing Orchestra	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
2	フットサル部	週1回フットサルをして全学年で交流をする。言葉遣いなど社会に出てから役に立つことを学んでいく。体を動かすことで健康な体を作る。
3	ミュージックボランティア	私達は主に高齢者や子どもを対象に音楽療法(音楽活動)を行います。依頼先の方のニーズに応じ、学年を超えて交流し、方法を学ぶことを活動目的としています。音楽療法(音楽活動)の内容は、高齢者であれば認知症予防やQOLの向上につながったり、子どもであれば社会性を育んだりすることを目的としています。
4	B・B・Z	バスケットを通して様々な年齢、学部の人達と仲を深める。サークルを通して上下関係を学ぶ。
5	ルーディメンツクラブ	マーチングドラムの基礎であるルーディメンツを実践し学びながらドラムセットなどの楽器技術向上を目指す。
6	和太鼓部	私達は、和太鼓演奏を通し、地域の方々や子どもたちとの交流を深めていきたいです。そのため、日々の練習を部員全員で励みたいと思います。
7	ダンスサークル	私達はダンススキルを向上させることを活動の目的とします。地域からのイベント出演の依頼には積極的に参加をし、地域活動化につながるように、活動していきたいです。
8	リズム体操部	私達は作って、指導して、動いてを活動目的とし、体操教室などを開催し、地域との交流を深めていきたいです。更にト等の大会に出場し、他校との交流を深めていきたいです。
9	中音部	授業外での音楽活動 他大学との交流 音楽、人間発達、美術による音楽活動
10	冒険KID'S	自然豊かな岐阜県郡上八幡で春夏秋冬を通し、小学生に自然と触れ合うことの楽しさを伝え、一緒に遊びながら「楽しく」「安全に」「予定通り」サポートスタッフとしての務め、私たちが目指す将来に役立つ”何か”を学びとる。
11	自由工房	子どもたちと関わりながら工作やクラフト、壁画構成をし、技術を高める。児童館や施設へボランティアに行く。
12	EXIA'S	バレーボールを通して、バレーボールの技術の向上とともに、集団での生活、人間としての成長を目的とし、それにより、大学生活をよりよいものとする。
13	録音部	自主的に音楽・録音作品の制作。音響での経験を重ね業界で生きる力を蓄える。
14	tiny*palette	ハンドメイド作品を作ることを活動目的とし、芸大祭での地域の方々との交流をしたり、部員で助け合いをして完成度の高い作品を作りあげられるように活動していきたいです。
15	軟式野球部	野球を通し体を動かし健康を保ち異学年との交流も深める。
16	吹奏楽クラブ	私達は大学の行事や地域の行事に積極的に参加し活動することを目的とし、東キャンパス西キャンパスの様々な学部を超えて今までとは違う音楽ができるように、活動していきたいです。
17	ゴスペルクラブ	ゴスペル音楽のルーツである歴史的背景を研究しつつ、ブラックゴスペルを極めていくことを目的とする。
18	ローターアクトクラブ	中部地区初の大学のローターアクトクラブとして他大学との交流を深め、芸術を通して地域文化の振興に努める。
19	リコーダークラブ	私達はリコーダーでのアンサンブルを通して集団での行動力を高めることを目的とし、各地のフェスティバルやコンテストなどに参加して地域の方々との交流をしリコーダーを色々な場面で活動していけるような活動をしていきます。
20	演劇サークル	経験の場を増やし、表現者としての世界を広げるため。
21	NUA音楽事務所	スタッフ育成するため、大学の知名度を上げ、いままでできなかった外部イベントへの参加、またタレントをプロデュースし、セミプロフェッショナルとしての意識を高く持ち、活動していく。

クラブ・同好会紹介 (西キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	テ ニ ス 部	テニス部は楽しみながらテニスを上達させるという目標を掲げる部活です！夏には水遊び、冬にはスキー合宿などのイベントがあります！テニスに興味がある人は是非来てください！
2	GONCE ス キ ー 部	毎週月・金曜日に体育館で活動しています！普段はバレーやバトミントンなど、色々なスポーツをします！冬はもちろんスキーをします！気軽に遊びに来て下さい。
3	着 付 け 部	みんなでまったりしながら着付けを練習しています。夏休みは明治村へ、春休みは京都へ一緒にお出かけしましょう！
4	バ ド ミ ン ト ン 部	バドミントン部は初心者、経験者関係なく誰でも楽しくバドミントンができる部活です！先輩や色々なコースの人たちと交流が出来て、制作の話など幅が広がると思います！気軽に体験しに来てください！
5	サ ッ カ ー 部	こんにちは！みなさんサッカーは好きですか？いや、そんなことはどうでもいい。サッカー好きでも嫌いでも、上手でも下手でもそんなの関係ない。楽しむ気持ちさえあれば、君の大学生活は輝ける！サッカー部で待ってるよ！
6	動 画 漫 画 研 究 部	動画漫画研究部ではコミックマーケットへの出展・芸祭でのイラスト・アニメーション作品の展示を主に活動しています！
7	自 由 音 楽 部	自由音楽部です！みんなでハッピーになりましょう！！
8	軽 音 部	学校で友達とバンドを組んでライブをする！そんな誰もが一度は想像した青春をこの部活で実現出来ます！初心者 経験者 男女 ジャンル関係なく楽しくやっています！是非遊びに来てね！一緒に楽しもう！！
9	陶 芸 部	活動のメインは、夏の合宿と芸祭への出店です。好きな時間に来て、好きなものを作ることができる楽しいクラブです。
10	版 画 部	版画部に入ること、授業時間外にも版画工房を使用できるようになります。また、版画の展覧会『K109展』への参加権が得られます。年間費(共用の溶剤費)は1,000円。とってもお得です！
11	バスケットボール部	毎週の火曜日と木曜日に体育館を使い活動をしています！バスケットボール初心者も経験者の方も大歓迎！興味がある方は是非一度遊びに来て、みんなで楽しくまったりバスケットボールをしましょう！
12	演 劇 部	芸大祭での公演を中心に時には楽しく、時にはマジメに活動しています。初心者大歓迎！自分の殻を破りたい人、誰かに発信したい人、表現の場が欲しい人、様々な目標を胸に、個性豊かなメンバーが揃っている劇団「超熟アトミックス」さあ君も仲間に入らないか？
13	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	主にアコースティックギターでの弾き語りライブやセッションをやっています。オールジャンルOK、初心者大歓迎です。
14	ストリートダンス部	ダンスが好きな人なら初心者、経験者問わず大歓迎！新入生歓迎会や芸祭ではステージ発表もあります！GWや夏休みなどの長期休暇はBBQなどのイベントも！楽しいので是非来てください！
15	Sweet Candy Boys & Girls	自然の中で運動する活動を行なっています。春はお花見、夏はキャンプ、秋は紅葉狩りなどする予定です！アウトドア好きな方は是非ともふるってご参加ください
16	書 道 ア ー ト	名古屋芸術大学書道アート部はアートの視点から切り込んだ書の表現を追求しています。また、「書道」と「アート」の垣根、領域を越えた全方位的な活動をしています。指導:横山豊蘭
17	ワンダーフォーゲル部	ワンゲルは月に1~2回活動しています。主に山を登ることを活動にしており、去年度は養老の滝や猿投山。登山の他には紅葉狩りにも行きました。参加も自由なので他のサークルと掛け持ちすることもできます！今年度はキャンプやバーベキューなど、登山以外での活動も行っていきたいと考えているので気になる方は是非！
18	サ バ イ バ ル ゲ ー ム 愛 好 会	私たちサバイバルゲーム愛好会は2か月に1度サバゲーフィールドへ行き、定例会に参加し、ルール、マナーを学び、正しい知識で楽しさを伝えていくサークルです。
19	テ ー ブ ル ゲ ー ム 部	この部活ではボードゲームで遊んだり、ボードゲームの魅力を普及させたりする事が主な活動です。ボードゲーム部とかテーブルゲーム同好会とか名称がコロコロ変わります。最近、Webサイト作りしました。 https://tablegame-nua.jimdofree.com

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
20	レ ゴ 部	LEGOは、発想力や創造力はもちろん、問題解決力や3次元的思考力が身につきます。芸術大学で学ぶ専門分野にも応用が効きます。LEGOブロックでいろんなものを作りませんか？各種コンテストにも挑戦します！
21	サイクリング部	月に1、2回サイクリングやポタリングなどを行っています。 どなたでも歓迎です！スポーツ自転車に興味がある方は是非！楽しいサイクルライフを過ごしましょ～。
22	NUAアクリリウム部	魚や両生類、水草や観葉植物などの飼育・育成・採取を行います。生き物が大好きな人、インテリアとしての植物に興味がある人、それ以外の人也大歓迎です。
23	AI育成同好会	イラスト(2D,3D)、声、動作、反応のシナリオなどキャラクターの設定とAIによって、人間とコミュニケーションが取れるいうにオリジナルキャラクターの育成を目指します。
24	日 々 m a h a l o	主に夏に集まり、マリナクティビティを楽しみます。サーフィンやBBQ、バナナボートなどで活動します。夏以外の季節は、自然を感じられるイベントを企画します。
25	芸大祭実行委員会	私たちと一緒に芸大祭を「作って」みませんか？実行委員会は名芸最大イベントでもある芸大祭の企画や運営をしています。旅行などの楽しいイベントもいっぱい！色々な学部の友達や先輩と最高の思い出を作りましょう！

TOPICS *pick up*

芸術学部 音楽領域 ダンスパフォーマンスコース特別客員教授 ケント・モリ氏による特別講義を開催

2019年5月9日、ダンスパフォーマンスコース 特別客員教授 ケント・モリ氏が来学され、特別講義が行われました。ケント・モリ氏は、愛知県の出身。「愛知は自分にとって地元といえる場所。東京や大阪といった都会ではない場所からでも自分はダンサーとして世界を巡ってきた。どんな場所からでも、ハートさえあれば必ずできる。このことを自分自身が実証しており、次なる若い世代ならもっともっとと超えられるはず。」と力強い言葉をいただきました。

特別講義は、ダンスパフォーマンスコース、ミュージカルコースの学生が受講。まずは、全員がケント氏に自分のパフォーマンスを見てもらうことから始まりました。見守るケント氏を前に、学生たちは臆することなく、それぞれのダンスと歌を披露しました。パフォーマンスに対してケント氏は、それぞれの試みを高く評価し、「ダンスもコミュニケーションと同じで、相手に伝えたいことをしっかりと伝えること」など、ひとりひとりに熱心にアドバイスを与えてくれました。

学生たちのパフォーマンスにケント氏も大いに発奮した様子で、お礼のパフォーマンスを披露してくれました。目が離せなくなるような一挙手一投足、すごみを感じさせる魅せるダンスに、講義は大いに盛り上がりました。

その後、ケント氏は学生たちと一緒にウォーミングアップ。ケント氏オリジナルの楽曲で、身体を動かします。まるでライブコンサートのような楽しさで、学生たちも息を弾ませます。

講義を通して印象に残ったのは、学生たちの、まだ未熟なダンスであっても、個性と面白い部分を見だして高く評価し、学生たちの可能性を広げようとするケント氏の姿勢。さらに、学生の反応に感化されてケント氏が動く、それにまた学生が感化されて…と、相乗効果で全体が高まっていく様子には感銘を受けました。

ダンスの後は、大アンサンブル室での公開講座となりました。1時間ほど、ケント氏に自由に質問し、そのことについてディスカッションするという形式で行われました。



始めにケント氏から、「今、この瞬間をできるだけ有効に活用して一緒に何かを作り出そう。この時間を一緒にものにしよう」と宣言がありました。

ダンスを始めたきっかけに始まり、上手いかわいときはどうするか、やめなくなったときはあるか、自分のスタイルをどうやって見つけたか、がむしゃらにやってきたか、それともコツコツか、などなど、学生からいくつもの質問が出されました。質問のひとつひとつに丁寧に答えながら、壁に当たったとき、やめなくなるようなときには幅広く考えや見方を変えること、ダンスに絶対的な答えはなく、自分が良いと思ったことを追求すればいいこと、そして人真似や人の評価に頼るのではなく、自分自身のダンスのスタイルを作り上げていくことが大事だと説きます。見えていることだけがすべてではなく、感じることや気持ちを表現することが重要だと話しました。また、「こうでなければならないというものはなく、自分だけのかたちを追求して行って欲しい。そのためにできることがあれば、今すぐ始めるべき」と強く訴えました。熱の入ったケント氏の言葉に、学生たちからも多くの意見が出され、非常に有意義な講義となりました。



芸術学部 美術領域 洋画コース教員の田村友一郎氏がニュージーランドで行う 個展に2年生の瀬古亮河さんが参加しました

美術領域 洋画コース教員の田村友一郎氏の個展がニュージーランドの美術館 Govett-Brewster Art Gallery にて2019年8月10日～11月17日まで開催されます。その個展で発表する作品では、アメリカンコミックをひとつのツールとして扱っており、その絵を洋画コース2年生の瀬古亮河さんが担当する事になりました。田村氏は、「アートの世界では、教えるというよりは、現場で何かしらのことが起こっていく状況を見せて、リアリティーとして体感する、そうしたことが大事だと思います。先生が作品を作っていくプロセスを間近で見ることができれば、作品のクオリティーについて実感を持ったりすると思います。」と語り、学生が現場を体験する体制を恣意的に作っていかうと考えています。その結果、洋画コース2年生の瀬古さんが、海外での個展にアーティストとして参加する事になりました。



芸術学部 デザイン領域 名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科 デザイン領域では 様々な産学連携プロジェクトを行っております

「文芸ライティングコース」

文芸ライティングコースは、ジュンク堂書店名古屋栄店と協力し、特別企画「あなたと、ワタシたちの本棚 2019summer」を開催致しました。普段は創作に全力を傾ける文芸ライティングコースの学生が、一年かけて読み込んで、コレ！と見込んだ本たちを一堂に集め、書店で紹介するという特別企画です。8月5日～8月31日の夏休み期間、本棚とそこに並べる本によって、学生たちが自分自身を表現しました。



「テキスタイルデザインコース」

テキスタイルデザインコースでは、毎年6月に開催されている「有松絞りまつり」にて、学生がデザイン、染色した手ぬぐいを販売しています。今年は、数多くのブランドをヨーロッパで立ち上げ成功に導いてきた齋藤統氏と、ヨウジヤマモトをはじめとする多数のブランドとのコラボレーションを行うなど世界で活躍する「suzusan」のクリエイティブ・ディレクター村瀬弘行氏の指導のもと、ブランドをゼロから作るという挑戦を行いました。ブランドコンセプトの開発から、お店のプロデュースまでを行い、「suisai」と「nukunugui」という2つのブランドが生まれました。出来上がった商品の表現の豊かさや、ブランドコンセプト、手ぬぐいの完成度は、関係者から高く評価されました。



「メディアデザインコース」



パナソニック株式会社が開発中の、新しい車載用サウンドシステムの開発に、本学デザイン領域メディアデザインコースの学生たち、サウンドメディア・コンポジションコース及び、音楽総合コースの学生たちが協力し、新しい技術が生み出す可能性のある、「未来の音生活」について意見を出し合い、商品化へ向けてのアイデア出しを行いました。

「インダストリアル&セラミックデザインコース カーデザインコース」

インダストリアル&セラミックデザインコース、カーデザインコースの4年生の学生が、中部文具工業協同組合(馬印・デビカ・森松産業・シヤチハタ)に対し、新商品のプレゼンテーションを行い、各社の代表を相手に自分のアイデアを語りました。『ターゲットの明確さ』『ニーズに対するアイデアの満足度』『ニーズの強さ』『商品のデザイン性』『発表の分かりやすさ』の5つの評価ポイントから採点が行われ、最優秀賞はカーデザインコースの大塚 優太郎さんの「学校の自由帳」が選ばれました。



芸術学部 芸術教養領域 「芸術教養レビュー」選抜展を開催

2019年7月26日～8月17日、本学西キャンパスB棟1Fセントラル画材跡地にて、「芸術教養レビュー」選抜展を開催しました。この展覧会は2019年7月5日～10日にADセンターで行われた第2回「芸術教養レビュー」展から選ばれた作品を展示したものです。それぞれに、メディア、言葉、モノなどを通し、芸術と社会や人間との関係を考えたり、課題を解決する提案がなされたり、あらためて芸術教養領域が取り組んでいる社会と芸術の在り方というテーマが伝わってきます。



芸術教養領域を担当する茂登山清文教授は「芸術教養領域一期生の学生たちの作品です。こうなって欲しいというよりも課題を投げかけていってどうなるかなと思ってやってきましたが、頼もしく成長してくれていると思っています」と評価。学生から、芸術教養は何をやっているのかわからないと他の領域の学生に聞かれ、自分の興味で視野が広がり、やりたいことが一番できる領域だと反論したという話があり、それを目を細めて聞いている先生方の様子に学生たちへの信頼が感じられました。

今後、学生たちは4年生で卒業論文に取りかかることになり、そのテーマの選定に思いをめぐらせているところです。どんな卒業研究の成果が出てくるのか、他の領域とはひと味違うユニークなものになりそうで期待が高まりました。



人間発達学部 附属幼稚園の「クリエまつり」を応援しました！

名古屋芸術大学 人間発達学部 子ども発達学科では、附属幼稚園がすぐ隣にある大学というメリットを活かし、幼児に関わりやすい環境の中、幼児教育を学ぶ事ができます。2019年7月6日には、クリエ幼稚園の盆踊り「クリエまつり」が開催され、本学の「和太鼓部」と「リズム体操部」が盆踊りを盛り上げるために参加しました。また、子ども発達学科2年生の学生も授業の一貫として参加し、縁日広場の準備や、そこで行われるゲーム担当として参加しました。このような実習を通じて、学生たちは子どもたちとの触れ合いから得る学びだけではなく、子どもたちの帰宅後に、先生方との振り返りや環境の整備などを通して、園全体や保育者の仕事を学ぶ貴重な機会となっています。



University of Brighton
Graduate Show

ブライトン大学訪問記

後援会長 菊井政右衛門

令和元年(2019年)5月29日～6月3日まで、名古屋芸術大学・大学院後援会を代表して英国ブライトン大学グランドパレード校(University of Brighton Grand Parade)を訪問しました。

代表団の編成は、当職(後援会長)、片山浩准教授(デザイン領域)、及び田村友一郎准教授(美術領域)の3名です。

訪問の目的は、ブライトン大グランドパレード校の graduate show(卒業制作展)の優秀作品に「名古屋芸術大学賞」を授与し、学術交流・友好親善活動を促進することです。

名古屋芸大とブライトン大は1997年に姉妹校提携を締結し、交換留学生の派遣・受け入れ、卒業制作展での大学賞の相互授与など、22年間にわたって持続的な学術交流・友好親善関係を築き上げて来ました。

グランドパレード校の前身は、1859年に創立された美術学校(Brighton School of Art)です。160年の歴史と伝統を誇り、アート&デザイン教育の分野では英国内で高い評価を得ている、いわばブライトン大の“看板学部”です。

大学のあるブライトン&ホヴ市は、ヒースロー空港から高速バスで約2時間(ロンドンからは特急列車で1時間)、イングランド南東海岸部に位置する同国有数のマリリゾートです。



ブライトン大学グランドパレード校
(美術学部) 外観



大学銘板



ブライトンの古い街並
(これが普通の風景です)

大学は3つの地区に5つのキャンパスを持ち、文系理系の各学部・大学院の他、サセックス大学(University of Sussex)と共同設立したメディカルスクール(医学部)も含めると全部で12学部、約20,000名(うち留学生約1,500名)の学生が学ぶ大きな国立総合大学です。

我々のブライトン大での滞在時間は実質2日半。旅装を解いて大学本部を表敬訪問。その足で卒展会場へ。作品審査を開始。審査の合間に新プロジェクト立ちあげ会議や教授陣とのミーティング。夕方からは学部長主催の夕食会(初日)や招待客限定の前夜祭VIPイベント(2日目)に出席。ホテルに戻って採点結果の集計、演説草稿や作品講評の執筆、表彰状作成等々と、連日深夜までフル回転で過ごしました。

授与式当日、会場のシアターホールでは雑壇正面のスクリーンに「Brighton grad show 19」の文字が映し出され、客席は詰めかけた関係者(学生・保護者・教職員・市民等)で満員御礼の大盛況でした。

授与式はブライトン大に協賛する地元スポンサー企業や篤志家が提供する各賞が先行し、名古屋芸大はトリをつとめました。



表彰式会場
(スクリーンには「ブライトン卒業制作展19年」のタイトルが)

表彰状授与式
の様子



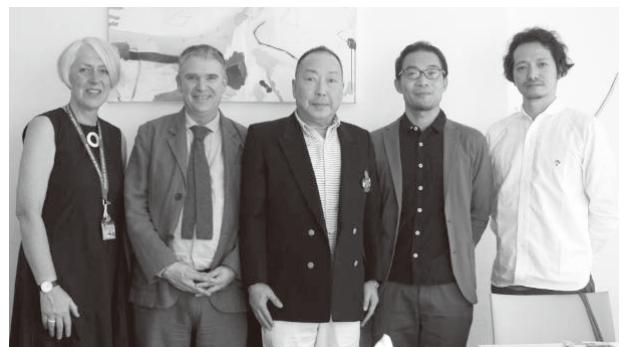
名芸大訪英団を
代表して演説する
菊井会長

はじめに当職が名古屋芸大を代表して演説し、続いて片山・田村両先生から受賞作品の発表と講評が行われ、受賞者7組9名に名古屋芸大賞(表彰状・賞金)を授与しました。

英国内での全ての日程を終えた我々代表団は、本プロジェクトの成功に向けてご尽力いただいた名古屋芸大とブライトン大の関係者各位に深甚なる謝意を表するとともに、両大学の交流が末永く益々発展せんことを祈念しつつ、ヒースロー空港から一路帰国の途につきました。



喜びの受賞者たち



表敬訪問(左からアマダ美術学部長、ダンカン副学部長、菊井、片山・田村准教授、於学部長室)



来場者でにぎわう作品展示会場(名芸大の卒展、卒演もこれぐらい盛り上げたいものです)

アート&デザインセンター 2019/2020 展覧会スケジュール

2019	
4月1日(月)~4月17日(水)	レビュー選抜展
5月17日(金)~5月22日(水)	PLAYGROUND イラストレーションコース作品展示
5月24日(金)~5月29日(水)	ぼきよぼきよ展/崔大鉉 7度目の陶芸展(白磁の饗宴)
5月31日(金)~6月5日(水)	K109展
6月7日(金)~6月12日(水)	教員展
6月14日(金)~6月19日(水)	オリリズム4
6月21日(金)~6月26日(水)	After Denmark 2019展
6月28日(金)~7月3日(水)	プレソツ展
7月5日(金)~7月10日(水)	PASSION / 芸術教養レビュー / CDA 大学院展
7月12日(金)~7月17日(水)	くうねるところにすむところ / 前期交換留学生作品展
7月19日(金)~7月24日(水)	素材展(メタルコース)
7月26日(金)~7月31日(水)	素材展(テキスタイルコース)
9月20日(金)~9月25日(水)	日本画作品展
9月27日(金)~10月2日(水)	助手展
10月4日(金)~10月9日(水)	コミュニケーションアートクラス課題展
10月11日(金)~10月16日(水)	彫刻&洋画1コース展
10月18日(金)~10月23日(水)	大学院同時代表現研究制作展/スタジオ展
10月25日(金)~11月13日(水)	美術領域 企画展(予定)
11月15日(金)~11月20日(水)	MCD デパートメント2019
11月23日(土)~11月27日(水)	東南アジア・インドネシア・マレーシア交流展
11月29日(金)~12月4日(水)	メディアデザインコース展
12月6日(金)~12月11日(水)	こどもと絵本の空間/後期交換留学生作品展
12月13日(金)~12月18日(水)	洋画コース2・3年選抜展
12月20日(金)~12月25日(水)	工芸展
12月26日(木)~12月27日(金)	メディア卒制審査
2020	
1月6日(月)~1月9日(木)	書道アート展6
1月10日(金)~1月22日(水)	デザイン領域 企画展(予定)
1月23日(木)~1月24日(金)	メディアデザインコース卒制審査
1月28日(火)~1月29日(水)	MCD 卒制審査
1月30日(木)~1月31日(金)	SD/ID/CD 卒制審査
2月3日(月)~2月7日(金)	大学院1年審査
2月10日(月)12日(火)13日(水)	大学院2年修了審査
2月21日(金)~3月1日(日)	卒業・修了制作展

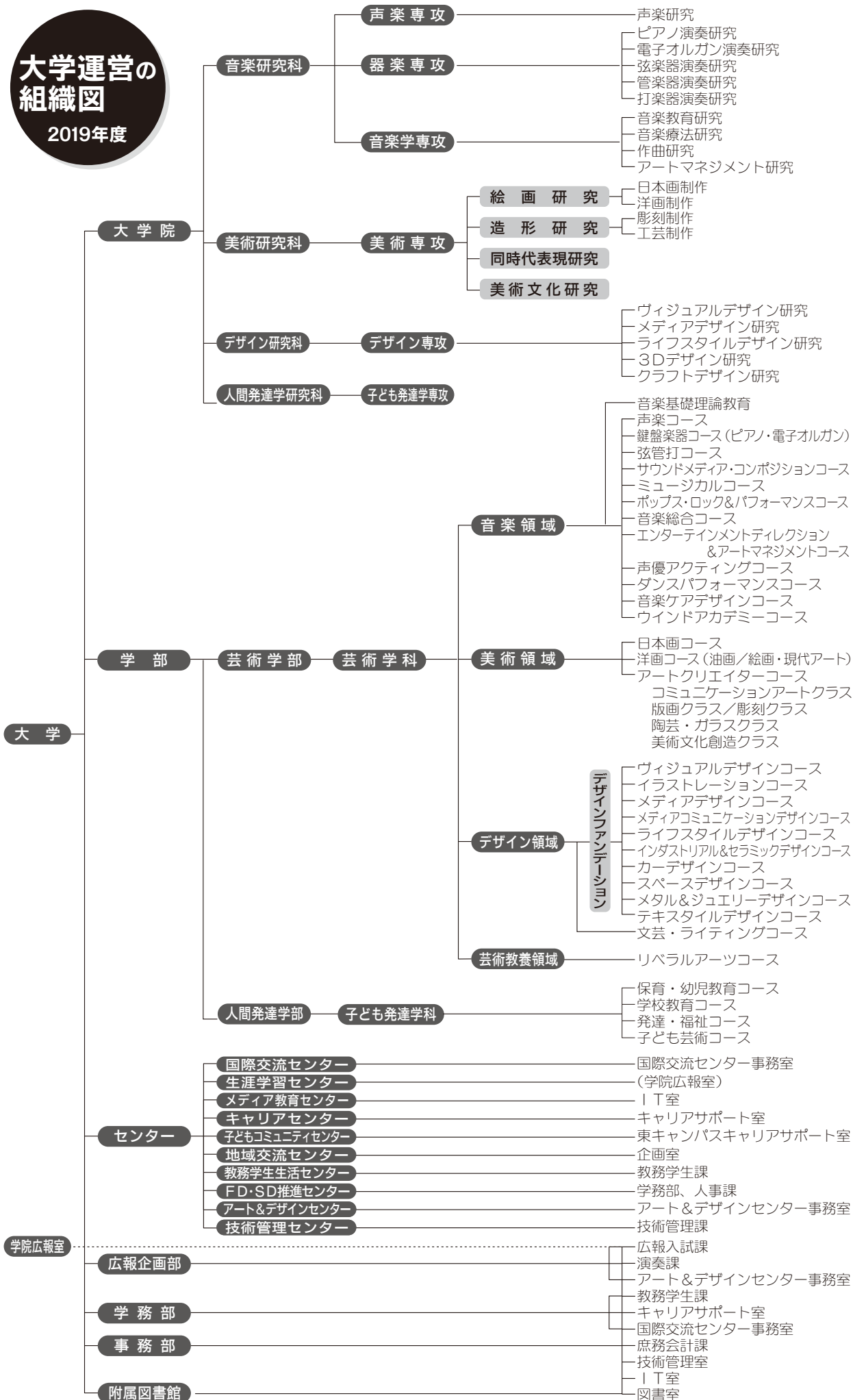
※都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

Art & Design Center 

名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

大学運営の組織図

2019年度



名古屋芸術大学・大学院後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学・大学院の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 - (3) その他本会の目的達成に必要なと認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学・大学院学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。
- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
 - (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
 - (2) 監事は会務を監査する。
 - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
 - (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
 - (3) 役員の選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。
- (1) 総務委員会
 - (2) 事業委員会
 - (3) 広報委員会
- 第14条 委員会に、委員長1名、副委員長2名および委員若干名をおく。
- 2 委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は委員会の同意を得て会長が指名する。
- 第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。大学院生は年額10,000円とする。
- 第17条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第18条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。
- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
 - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
 - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。

名古屋芸術大学・大学院後援会 弔意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
3. 役員の前親等家族および前親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、平成18年6月1日より施行する。

名古屋芸術大学・大学院後援会 顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学・大学院の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は平成17年4月1日から適用する。

学校法人名古屋自由学院決算報告

平成30年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目	29 年 度	30 年 度	前年度比較
【事業活動収入】			
学生生徒等納付金	2,946,036	2,894,668	△ 51,368
補助金	268,725	275,413	6,688
その他	593,280	611,391	18,111
A基本金組入前事業活動収入計	3,808,041	3,781,472	△ 26,569
基本金組入額	0	△ 120,249	△ 120,249
B事業活動収入計	3,808,041	3,661,223	△ 146,818
【事業活動支出】			
人件費	2,664,453	2,500,975	△ 163,478
教育研究経費	1,058,949	1,037,250	△ 21,699
管理経費	488,474	504,154	15,680
その他	38,189	30,301	△ 7,888
C事業活動支出計	4,250,066	4,072,681	△ 177,385
A-C 基本金組入前当年度収支差額	△ 442,025	△ 291,209	150,816
B-C 当年度収支差額	△ 442,025	△ 411,458	30,567
基本金取崩額	262,131	0	△ 262,131

事業活動収入の部は、学納金収入は減少し補助金収入等は前年度を上回り、事業活動収入計は37億8,147万円(前年度比2,657万円減少)となりました。基本金組入額は、1億2,025万円でした。

事業活動支出の部は、人件費25億98万円、教育研究経費10億3,725万円、管理経費5億415万円、事業活動支出計は40億7,268万円(前年度比1億7,739万円減少)となりました。

当年度収支差額は2億9,121万円の支出超過となりました。

平成30年度 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	30年3月31日現在	31年3月31日現在	前年度比較
【資産の部】			
固定資産	15,590,772	15,390,986	△ 199,786
流動資産	1,753,951	1,501,152	△ 252,799
資産の部合計	17,344,723	16,892,138	△ 452,585
【負債・基本金・消費収支差額の部】			
固定負債	1,268,709	1,252,076	△ 16,633
流動負債	1,145,418	1,000,675	△ 144,743
負債の部合計	2,414,127	2,252,751	△ 161,376
基本金	18,842,335	18,962,584	120,249
翌年度繰越収支差額	△ 3,911,739	△ 4,323,197	△ 411,458
負債及び純資産の部合計	17,344,723	16,892,138	△ 452,585

資産の部合計は168億9,214万円(前年度比4億5,259万円減少)、負債の部合計は22億5,275万円(前年度比1億6,138万円減少)、基本金の合計は189億6,258万円(前年度比1億2,025万円増加)、翌年度繰越収支差額は43億2,320万円の支出超過となりました。

注1. 千円未満は、四捨五入。
詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。

「せせらぎ合唱団」 団員募集

この「せせらぎ合唱団」は、名古屋芸術大学後援会の有志により「歌を歌って楽しもう」と20年前から活動している合唱サークルです。美術部の絵画サークル「壁の華」より数年遅れて始まりました。今では、両方の会員になって活動している方もあります。今年入学された父兄の皆様には5月の定期総会の時に、すでに案内させて戴きました。まだこの会をご存知ない方々にも、ぜひとも知って戴きたく、この会員の募集をします。

「せせらぎ」とは、小川の流れや音です。合唱は一人の声は小さく弱いのですが、仲間の声を聞き、合わせると素晴らしいハーモニーが出来ます。ひとりで、うまく歌えなくても、心が楽しく、気持ちが浮き立ってきます。この4月からは、みなさまもよく知っている曲「見上げてごらん夜の星を」(歌・坂本九)を江端先生の編曲で15名位の団員で歌っています。発声練習を兼ねて中学校の音楽の時間歌ったことのある「夏の思い出」や「夏は来ぬ」を二部合唱で歌っています。

月1回の練習でまだまだ十分音程がとれない段階ですが、仲間の声に助けられて皆で頑張っています。今年の名芸祭(11月2日)に向けて合唱の発表会に参加できたらと企画しています。

後援会の皆様に、この機会に入部していただけたらと思っています。是非とも練習会場に来て下さるようにお待ちしています。



【練習日】

毎月第3土曜日の午後1時から2時30分まで
(都合により変更あり)

【場 所】

東キャンパス4号館の3階のオペラ教室
(グランドピアノで練習)

【指導者】

本校の卒業生である山田正文先生と江端智哉先生に発声の仕方から各パートの音取りを懇切丁寧に教えてもらっています。声を出すことで、健康と楽しさを実感できるこのサークルへ、是非とも加わってください。お待ちしております。

〈問い合わせ先〉

会 長 長江 政則
〒480-1214 瀬戸市上品野927番地
電話：0561-41-1655 携帯：080-3621-7706
副 会 長 千石 智子
〒488-0863 尾張旭市城前町上大道4084-6
電話：0561-53-4222 携帯：090-8469-4324

絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、名古屋芸術大学後援会の有志によって活動を続けている絵画グループであります。毎月一回大学の施設をお借りして大学の先生方により丁寧な指導をして頂いております。油彩、水彩、日本画を中心に、今年からは水墨画についても教えて頂きます。そして、制作された作品を名古屋市民ギャラリーに展示して、皆様に鑑賞して頂いております。今年で第26回目の展覧会を、開催しております。

この他にスケッチ会、鑑賞会等があります。

最近、若い会員の方に入会していただき、益々賑やかなグループとなりました。

是非、後援会の皆様も「壁の華」の会に入会して頂き、絵画の制作をお楽しみ下さい。

【活動状況】

- 1、月例会 (月額会費：1,000円)
日時：毎月第三日曜日午後2時～4時
場所：名芸大西キャンパス
- 2、グループ展 (26回継続中)
日時：毎年5月上旬(一週間展示)
場所：名古屋市民ギャラリー 7F
- 3、スケッチ会 11月予定
- 4、日展、二科展、国画展の鑑賞会

〈問い合わせ先〉

会 長 宇佐見 誠也
〒489-0874 瀬戸市幡野町508
電話：0561-21-4567 携帯：090-7305-8205
運営委員長 森部 みや子
〒492-8075 稲沢市下津町西下町58
電話：0587-32-2814 携帯：090-1825-1671



編集後記

ボーダレス、国際化に向けて変遷を続けている大学の情報、学生の皆さんには縦・横だけでなく縦横無人のネットワークの中での芸術の学びや活動を期待されている様です。また、地域の中の大学という役割も忘れることなく、芸術が医療や福祉、地域への影響・効果を考え今以上に発展・貢献していけると良いですね。

情報が多すぎる今日で、1日のほとんどをスマートフォンで費やしていませんか？それも大事な時間ではありますが、大学生の皆さんは美術館が無料で入れる所もあるので、自分の分野以外にもどんどん足を運んで学びを深い見聞を広めてください。たくさん勉強ができる学生時代が懐かしく羨ましい限りです。ご家族もぜひ大学に足を運ぶ機会を増やし楽しんではいかがですか？秋には大学祭がありますが、楽しい企画や、プロ顔負けの作品販売、日頃の学びが感じられるはず！家族にとっても大学を身近に感じていただきたいと思えます。今後、大学開学50周年でいろんな企画が催されることでしょうか。ご期待！！
広報委員長 池野美鈴

- ◆発行 名古屋芸術大学・大学院後援会
〒481-8503
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
TEL. 0568-24-0315 FAX. 0568-24-0317
- ◆編集 名古屋芸術大学・大学院後援会
広報委員会
- ◆表紙デザイン
本学デザイン学科卒業生 武藤理恵子
- ◆発行日 2019年(令和元年)9月30日

